

文化でつなぐまちづくり

ー NPO たけとよとゆめたろうプラザの協働の軌跡ー

since 2003 part2

目次

はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・01
対談「協働の場“ゆめプラ”20年のあゆみ」・・・・・・・・・02
ゆめプラの仲間より ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・08
メッセージツリーに集まったコメント ・・・・・・・・・・12
ちょっと脱線、ゆめプラ四方山話 ・・・・・・・・・・・・13
活動記録2016年度～2024年度・・・・・・・・・・・・・・14
保育園・学校アウトリーチ ・・・・・・・・・・・・・・・32
こども向け企画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
サイエンストーク ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
サイエンスレクチャー ・・・・・・・・・・・・・・・・・35
現代アートの鑑賞 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
アートレクチャー／文化のまちづくりセミナー ・・・・・・37
ゆめたろうプラザ開館20周年記念事業 ・・・・・・・・・・38
ゆめプラっとフェス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
これからプラン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
アンケートデータ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44
会員コメント ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46
組織図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・49
編集後記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・50



2018 年 3 月 20 日　愛知県芸術文化選奨 文化賞受賞

はじめに



特定非営利活動法人 武豊文化創造協会（NPOたけとよ）
理事長　**左右木　星志**

武豊町民会館（ゆめたろうプラザ）は、開館20周年という節目の年を迎えました。

この度、記録誌Part1に続き、その後の歩みを記録した「文化でつなぐまちづくり」記録誌Part2を無事発刊できますことを心より感謝申し上げます。

私たちが日々を健やかに、そして豊かに生きる上で、文化の力は欠かせません。音楽を聴いて心を動かしたり、アートを鑑賞して新たな視点を得たり、自らが表現活動に参加して生きがいを感じたり。ゆめたろうプラザは、そうした文化の大切さを心に刻み「住民が主役の文化施設」として、この武豊の地で住民の心の豊かさを育むための拠点として誕生しました。

ゆめたろうプラザは、「人が育ち、まちを育てる」という理念のもと、全国的にもまれな行政とNPOたけとよ（武豊文化創造協会）との「協働」により運営されてまいりました。

この間、音楽や演劇、芸術と科学のハーモニー事業など、多岐にわたる事業を展開し、2017年度には、長年にわたる地域における文化活動の推進と、行政と協働した文化創造事業への顕著な貢献が評価され、NPOたけとよが「愛知県芸術文化選奨文化賞」を受賞しました。これもひとえに、町民、行政の皆様、各種団体、そして企業の皆様の温かいお力添えの賜物であります。

この記録誌は、これまでゆめたろうプラザに関わってくださった皆様と共に創造してきた、かけがえのない活動と笑顔の記録です。さらには、このゆめたろうプラザでの活動が、町民一人ひとりのふるさとを愛する心、すなわち「シビックプライド」の醸成に繋がっているならば、これ以上の喜びはありません。

この20年の活動を礎に、さらなる地域文化の発展と活性化に努めてまいります。

未来を担う子どもたちの豊かな感性を育むと共に、誰もが主役となれる文化拠点を守り育てるべく決意を新たにし、結びとさせていただきます。



武豊町民会館　ゆめたろうプラザ
館　長　**籾山　勝人**

－数えきれない人の渦、その渦は武豊町内だけでなく周辺の自治体の人々、愛知県内の人々、さらには世界の人々も巻き込み「文化・芸術」という壮大な渦で人々の生活圏に入り込んでいる－

ゆめたろうプラザ（武豊町民会館）が昨年20周年を迎えました。それを記念して2015年に発行したpart1に続き第２弾の記録誌を発行するに至りました。

これまでゆめたろうプラザの運営・事業に関わったNPOたけとよ、行政、企業の皆さま、そして、出演者、観客・参加者、それらを裏で支える方々の日々の努力が実り、ここに記録誌として目に見える形でまとめてくださったことを関係者一同感謝申し上げます。

浦島太郎伝説が残る武豊町に、夢の玉手箱であるゆめたろうプラザが開館し20年。夢が詰まった箱を開けると、「音楽」「演劇」「舞踊」「伝統芸能」など劇場特有の文化芸術に特化した分野のみならず「科学」という未知の分野と芸術を融合した果てしない世界にまで取り組む事業が脈々と育ち劇場も成長しました。

ここまでの道のりは必ずしも平坦ではありませんでした。生みの苦しみ、育ての苦しみは、NPOたけとよや町行政の関係者の対談から読み取れます。

劇場の運営主体は自治体により様々ですが、行政とNPOが共存共栄し発展し続けた会館は全国的にも珍しく、ゆめたろうプラザが全国で唯一の劇場であることは言うまでもなく、携わった多くの方々も誇りに感じていることでしょう。そのことはページをめくるごとに感じていただけることと思います。

人生100年時代の今、まだ20歳の劇場ですが、応援してくださるすべての皆さまの声が心に響く限り、ゆめたろうプラザは輝き続けます。

次の10年を夢見て醸成する、味噌、たまり醸造の町、たけとよと共に！

対談：協働の場“ゆめプラ”20年のあゆみ



《対談者》

武豊町民会館第二代館長	竹本　義明
武豊町民会館初代事務長	大岩　利康
NPOたけとよ初代理事長	櫻場　敬信
NPOたけとよ第二代理事長	犬塚　久夫
NPOたけとよ第三代理事長	左右木星志
NPOたけとよ初代事務局長	高橋　洋子

《司　会》

NPOたけとよ副理事長	髙木　正博

2025.7.29(火)　情報考房にて

ゆめプラの立ち上げと協働による運営の始まり

髙　木：10周年の後で作った記録誌の中では、武豊町民会館＝ゆめたろうプラザ(以後、ゆめプラ)がオープンするまでの話を聞きました。昨年、開館20周年を迎えて発行するこの記録誌では、20年間の活動内容に基づいて、なぜ続いたのかを含めて、皆さんにお話を伺いたいと思います。
まず、町と住民、ここでは主にNPOたけとよになるのですが、その両者の協働による運営の始まりと、ゆめプラの立ち上げについて復習したいと思います。武豊町民会館初代事務長として深く関わった大岩さんはどうでしょうか？

大　岩：一般的な「文化ホール」の建設では、役場の職員と設計事務所とが打ち合わせをしてプランを作って、それを審議会等にかけてOKになってから、住民に公開するという流れだと思います。それを基本構想から住民に参加してもらうワークショップを始めたわけです。私は最初、「ワークショップ」という言葉すら知りませんでした。
まず、住民参加を意識した基本設定を条件にした「プロポーザル*」方式を採用しました。その結果、住民に参加してもらって基本設計を作っていくというプロセスを提案した設計事務所を採用しました。その方式がワークショップだった。いよいよワークショップを始めたら、大勢の方が参加してくれた。その中にはまるっきり文化ホール建設反対の方もいて、ホールなんかより温泉施設を作ろうという意見も出ました。でも他の参加者から「私たちはホールを作ろうと集まっているのだから、ホールについての意見を出してください」という一言があり、それから反対する方々があまり出席しなくなってきた。そこから、どんなホールを作りたいのかという目的に向かって進んでいった。それと、プロポーザルで選んだ「都市造形研究所」が、町民の声を生かすような流れでワークショップを進めていきました。町の職員にもよく言ったんですが、町民の参加者は、土・日にワークショップに出てくれる無報酬ボランティアで集まってきた人たちだが、我々は給料をもらっているんだから頑張りましょうと。
住民参加型ということでワークショップを始めて、基本構想を練り、図面が出来上がって、工事が始まり、だんだん建物が見えてきた。そんな時に、住民の参加者の一部から「事業を作ってみたい、やりたい」という声が上がった。そこで準備事業実行委員会の組織を作り、そこに委託をして企画づくりを進めてみました。出演者との交渉、ポスターの作成・チケットの作成などを自分たちでやってみようということで進めました。皆さん本当に意欲的に取り組み、結果もよかった。我々も「これならいけるな」という気がしてきました。そこで、実行委員会という形では継続が難しいので、実行委員の中から「NPO*」という考え方が出てきた。当時は、私もNPOのことが全然わからなかったので、勉強しながら進めました。この組織化には、町民との関わりに熱心な町の職員が、県との交渉とか審査の申請書類の起案とか非常に意欲的にやってくれました。そうして「NPOたけとよ」が立ち上がって、今まで続いてきているという感じです。

髙　木：ゆめプラの事務室では町の職員とNPOたけとよの職員が、初めから一緒に机を並べて仕事をしていました。何か狙いがあったのですか？

大　岩：私は最初から一緒に机を並べてやった方がいい、そして、少しずつNPOたけとよに任せていった方がよいと思っていました。役場の職員の中には「本庁の社会教育課にいればいいじゃないか」という意見もありましたが、我々が本庁舎にいて、文句を言うだけではなく、我々も助けてもらい、NPOたけとよの手助けもするというように、お互いが助け合う。そんな中でやっていきたいなと思い、同居という方法を取りました。

＊プロポーザル＝主に公共事業や企業の業務委託において、企画力や技術力、経験などを競って、最適な発注先を選ぶ選定方式のこと
＊NPO＝（民間の）営利を目的とせず社会的活動を行う団体

髙　木：いよいよ2004年9月にオープンしたのですが、一番心配だったことは何ですか？

大　岩：一番心の中にあったのは、これで良かったのかなということですね。いろいろ迷っても、やらないといけない、決断しないといけないという気持ちでしたね。今は20年も続いてすごいと思っています。そのポイントの一つには、歴代の「NPOたけとよ理事長」さんが名誉職という気持ちで務めるのではなくて、何事にも率先して取り組んでいることがあると思う。理事長もそれから会員・NPOの職員も、みんなが同等の立場で話すことができる。

髙　木：高橋さんは20年間NPOたけとよの事務局長として勤められたのですが、いよいよオープンという時、何が不安でしたか。

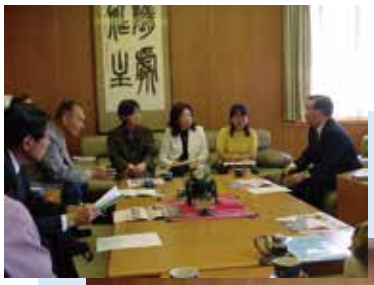
高　橋：ゆめたろうプラザの知名度も信頼度も全然ないので、チケットが売れるだろうか、赤字になったらどうしようと思っていました。

髙　木：竹本さんは館長として18年務められましたが、ここに赴任された時どんな印象でしたか？

竹　本：本当に頑張っているなという感じでした。今、私なりに、どうしてゆめプラの活動が20年続いてきたかということを考えていて気がついたのが、「行政と住民との協働」という形が武豊町以外に全国にはないということです。武豊町では行政と住民・NPOたけとよとが、大岩さんが言うようにうまく連携した形が出来上がったということです。それは今までの運営の仕方とは違っています。やはり、行政が住民の意欲を引き出す姿勢と、住民が活動する場所を望んでいる中からこのような形が定着したんだと思っています。一番のポイントはやはり行政だと思います。多くの行政は、なかなか住民参画まで歩み寄らないと思います。

髙　木：櫻場さんは初代の理事長として10年間務められましたが、最初はどうでしたか？

櫻　場：理事長の打診を受けたのが、ちょうど定年が延長になり、会社からはいつまでいても結構ですと言われていた時だったんです。仕事でやりたいことも残していたんで悩んだけど、ゆめプラのことをやらなきゃいけないと思ったし、それに興味もあったので結果的にNPOたけとよに入って理事長を引き受けたわけです。会社の方を選んでいても、それなりにまた違う人生があったと思うけど、NPOたけとよの活動を20年やってみて、間違ったとは思っていません。



青木孝憲町長（当時）と懇談



NPO たけとよ設立総会にて

髙　木：犬塚さんは第二代理事長として5年務められましたね。どうでしたか、舵取りは？

犬　塚：やっぱり「住民参加型」でいろんなことをやれてよかったと思う。実はNPOたけとよが立ち上がった当時は何も知らなかった。当時の武豊町の教育長に「ジュニアオーケストラを作りたい。どうしたらいい」って言ったら、「竹本館長のところに行って相談せよ」と言われたことからゆめプラとの関りを持つようになった。ゆめプラの「東京佼成ウインドオーケストラ実行委員会」や「宮川彬良＆アンサンブル・ベガ実行委員会」の実行委員長になったりと、いろいろやっていた。それから武豊春の音楽祭に参加して、そこで櫻場さんから声をかけられた。それまで、ゆめプラの協働の取り組みについて全く分からなかったけど、足を運んでみたら、面白さや良さがとにかくどんどん広がっていくんだよね。だから、これからもいろいろな人にゆめプラに来てもらって「あ、これ楽しいね」とか「居心地がいいね」っていうのを感じてもらえるようにしていくと、いいのかなと思う。それが今まで20年やってこれたことに繋がると思う。

髙　木：第三代理事長の左右木さんは、今年で理事長として5年になりますが、やってみて、どうですか？

左右木：私がゆめプラに関わったのは、「武豊春の音楽祭実行委員会」です。音楽祭の立ち上げの時から活動していましたが、このNPOたけとよは全く知らなかったです。でも、櫻場さん犬塚さん髙木さんも実行委員会に入っていて、皆さん僕より年が大きいのだけれど、すごく元気(笑)に活動しているのが見えて、これがNPOたけとよなのか、じゃ入ってみようかなと自分から入ったんです。だからその時は、ゆめプラの運営やNPOたけとよが何をやっているかとか、全く分からずに飛び込んだ。
今では全国でも珍しい運営の仕方だということがよく分かった。NPO法人、いわゆる住民が中心になって企画と運営ができているというのが評価が高いところだと思う。他の地域でもいろいろな活動をしている人たちがたくさんいるけれども、なかなか行政と仲良く協働して進めることができていないのではないでしょうか。ゆめプラでは、それをぶれないで継続できているんでしょうね。大岩さんが言っていたように、まず住民に参加してもらって実際にやってもらうことから始まっている。そういう場所づくりを行政がしたということはすごいなあと思います。本当に住民にとって輝ける場所であったり、生きがいを味わえる場所であったりする。それを上手に行政が作ってくれたのではないかなと思う。入ってよかったかなと思っています。

運営の拠り所は「文化創造プラン」

髙　木：武豊町にはゆめたろうプラザが開館したときから「武豊町文化創造プラン」があります。これは他の市町ではないところがほとんどのようです。どんな経緯でいつ頃できたかを、大岩さんにお聞きしたいのですが？

大　岩：建設専門委員会の時から検討されて、2003年に完成し施行されています。委員の名古屋大学の清水裕之先生がいち早く声を上げて話が進みました。ゆめプラの運営を進める上での拠り所となるものが必要だと考えて、最終的には武豊町全体の文化創造についての「マスタープラン」としてまとめられました。

竹　本：はっきりした数字は今わからないけど、いわゆる都道府県レベルでは半分ぐらいがマスタープランを作ってるんですけど、市町村で作ってる所は極端に少ない。

高　橋：オープン当初もそうですが、今でも「武豊町文化創造プラン」があることで、それに基づいて運営や企画をやることを基本にしています。また、実はこれで私たちが守られているみたいなところもありました。それは、町の体制が変わっても、この「プラン」がある限りは土台の部分が揺らがないという互いの拠り所になっているということです。

髙　木：NPOたけとよは自分たちの好きなことをやっていると、一般の町民の方や、行政の中にもそういうことを言う人がいるかもしれない。そんな時、そうではないという根拠にもなり、あるいはそんなふうに言われるようになってはいけないという一つの指標になっているとも考えています。それに加えて、私たちNPOたけとよが、委託契約で受けている委託料というのは、もとは税金なんだということを深く自覚しながらやらなければいけないと思っています。



2015年度 学校アウトリーチ BLACK BOTTOM BRASS BAND

櫻　場：確かに好きでボランティアをやっているんだけど好きなことだけやっているわけじゃない。どうやって地域の人たちに楽しんでもらえるかを考えている。

地域の皆さんの声を活かす取り組み

髙　木：地域の皆さんの意見を聞く努力の一つとして、開館後と20周年に合わせて小中学生にアンケートをとっていますね。

櫻　場：オープン2年目から3年連続で取りました。保護者の意見を書く欄もつけていた。子どもだけではなく、広く意見を求めようと考えたからです。子どもたちのリクエストもいろいろあった。子どもたちからは「でんじろうのサイエンスショー」、ノーベル賞を取った人の話、オリンピックのメダリストの話を聞きたいという声があった。この三つは3年続けて出てきていた。
保護者からは、子どもたちが参加できる講座の申込開始日が土曜日が多いが、土曜日も仕事の保護者はなかなか申込みに並べないという意見があった。それを受け、人気の事業は抽選で参加者を決定する方式にした。
「でんじろうのサイエンスショー」は、ゆめプラ開館5周年にやろうとしたが、都合で翌年の2010年の謝恩事業として行った。すると、当初予定していた予算では足りなくなった。定例会で会員の皆さんに相談したら「子どもたちの希望だから何とか実現したい」という声が多く出た。その結果、一口1,000円で地域の人たちに協賛をお願いすることになった。ほんとにみんなで廻った。すると、予定していた金額より多く集まり、子どもの入場料を予定の半額にできた。もう一つびっくりしたのは、朝の4時にはもう寝袋を持って並んでいる人がいた。売出しが2月末か3月初めのまだ寒い時だったからほんと心配した。当日は666席が満席になった。輝きホールが、子どもたちの歓声で揺れたように感じた。
ノーベル賞の博士の話は、2013年に名古屋大学の益川敏英先生に講演をお願いした。大変気さくな先生で子どもたちに楽しい話をしたいと言ってくれました。講演会もたくさんの子どもが集まりみんなワクワクして聞いていた。


2010年度
米村でんじろう
サイエンスショー


2013年度
益川敏英講演会

「芸術と科学のハーモニー」と「知多半島春の音楽祭」

櫻　場：ゆめプラのテーマが「芸術と科学のハーモニー」ですが、これが実に良かったんじゃないかと思う。芸術だけだったら、こんなに続かなかった気がする。

竹　本：そこはすごく先見の明があって、理性と感性とか、科学あるいは技術と芸術というのは、14、5年前は全く水と油という関係にあった。それが今は一般的にもこの組み合わせが認められる。いち早くやったわけですよね。

髙　木：私もオープンの前に聞いたとき、疑問に思いました。しかし、考えてみると、どちらも創造性が深く関わっていることに気づきました。美術であれ音楽であれ「美」を追求するには、感性だけではなく理性が影響するし、科学的な思考には気づきという感性が重要になり、その気づきをきっかけに、理性をもとに科学的思考を深めることになる。一人の人間の中に、感性と理性は両方とも大切なもので、それが融合して人間性となるのだと思います。そう考えると、「芸術と科学のハーモニー」というテーマは、人間性を追求するということになるのだと気がつきました。このテーマのおかげで芸術と科学に関する事業をこのゆめプラで進めることができると感謝しています。
これは大岩さんにお聞きしたいのですが、開館して初めの5年間はNPOたけとよの事業数よりも、ゆめプラ直営(教育委員会担当)とか実行委員会が担当した事業数の方が多かったんです。何か思いや配慮があったということでしょうか？

大　岩：はじめからあんまり忙しくしてもね。一つひとつの企画をじっくりやってほしいと思っていた。お互いに経験を積む中でノウハウを積み上げ、お客様が喜ぶいい公演を作っていきたいと思っていた。それに、実行委員会でも多くの人に関わってもらいたいという気持ちがあった。

高　橋：実行委員会事業として代表的なのが「モーニングコンサート」と「春の音楽祭」ですね。「モーニングコンサート」はオープンの時に立ち上がったもので、町民を中心とした実行委員会で今も継続して開催しています。地域の演奏家を募って、響きホールを無料で提供して年6回の演奏会を実施しています。
音楽祭については、オープン前から少しずつ始まっていて、オープン後は2年に一度の実施を基本に続けています。ゆめプラの二つのホールやコリドールなどのオープンスペースを貸し出し、演奏者を公募して実施しています。その実行委員会の中にはNPOたけとよのメンバーも参加しています。

髙　木：いろんな資料をまとめていて気がついたのが、ゆめプラのテーマ「芸術と科学のハーモニー」のもと、市民と行政との協働事業として実行委員会で行った大きなイベントの一つが「小惑星探査機『はやぶさ』帰還カプセル等展示inたけとよ」の事業だったと思います。
確か、武豊町が展示を希望してJAXAに応募してゆめプラで行うことになった。その話がNPOたけとよの定例会で出た時に、たまたま他の科学館で展示を見た人が「まるで上野動物園のパンダみたいにカプセルが置いてあるだけで、ただ見てくださいという感じだった」という意見を出した。そうしたら「どうせやるんなら、もっと学びのある取り組みにしたい」と言って、実行委員会の立上げの時に、櫻場さんはじめNPOたけとよからもたくさんの人が入った。その後、他の町民の方たちと一緒になっていろいろ案を出し合っていった。あの時に「学びがある」という発想の仕方がNPOたけとよらしいな、やればいいではなくて、どうやったら学べるか、面白くなるかって考えていくのが「民の力」の一つの表れだなと強く思いました。期間は2011年8月4日～7日の4日間でした。延べで1万4千人を超える来場者があった。当時の武豊町の人口が4万2千ちょっとですから、その3分の1の来場者があったということになります。武豊町のはやぶさ展はクレイジーな企画だとSNSで称賛されましたね。この実行委員長は櫻場さんだったんですが、その時の思い出みたいなものはありますか？


2011年度 小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル等展示

櫻　場：みんなの意見から、実物大模型を作ろうということになった。当時NPOたけとよの理事で、宇宙に興味をもっていたMさんが中心になって実物大模型、それも本物そっくりなものを作ろうと頑張った。

犬　塚：実物大模型だけではなくて、文化ホールの強みを生かしていろんなものをやった。小さい子から大人まで楽しめるものにしたいと考えて、紙芝居をやったり、講談をやったり、はやぶさの映画もやった。それからスイングバイの仕組みが分かる実験セットを作って実際に参加者にやってもらった。本当にいろいろあった。そしてどれも楽しいものばかりだった。はやぶさのコスプレーヤーにも来てもらった。

櫻　場：あれをやったことで、普段は文化ホールに来ないような人がゆめプラに来た。ゆめプラの認知度もぐっと上がったね。NPOたけとよの理解者も増え、実行委員会に入っていた人の中からNPOたけとよに入った人が結構いましたね。

髙　木：なるほど、市民と行政が協働するいろいろな実行委員会がゆめプラの中で活動していったわけ

ですね。
その中で、文化ホールとして大きな意味合いを持った事業が「知多半島春の音楽祭」だった気がします。きっかけは2年に一度の「武豊春の音楽祭」だったと思います。それを知多半島全域に広げた音楽祭として実施した。知多半島中から会場を募集して、演奏したい人は知多半島以外からも広い範囲で公募し、その両方をマッチングする内容でした。その「第1回知多半島春の音楽祭」が2013年1月から３月でした。この話は竹本さんから出たと思うのですが。

竹　本：「ペニンシュラ*構想」の発端は、前任の安藤隆之初代館長で、実際に「武豊春の音楽祭」が実績を積み、認知度も上がり定着してきた。そこで、やっぱり知多半島は一つということでやっていくと、相当大きなインパクトがあるイベントになると私も考えました。文化・芸術が一部の地域で活性化し、それが他の地域にも広がっていき花開いていくといいなという気持ちでした。しかし残念ながら現在は「武豊春の音楽祭」だけになっています。私たちが5市4町に声をかけたのが、ちょっと早過ぎたのかなと思ったりしてますけど。

髙　木：第1回の実行委員長が犬塚さんでしたね。実行委員長で大変だったんじゃないですか？

犬　塚：当時の竹本館長さんに知多半島に広げたらどうかなと言われた時に、まず僕が思ったのは予算のことです。「武豊春の音楽祭」の時、町内の企業を回って100万ぐらい集めていた。それなら、今回は200万集めれば、パンフレットぐらいできるなと思っていた。確かに5市5町を回ったり、知多県民事務所で各市町の行政関係者に説明会をしたりして大変だったけど、今思うと本当に楽しかった。いろんな人と接することができたのは自分自身にめちゃくちゃプラスになった。だからあれがなくなったのは、ちょっと残念だなと思う。その上、文化庁から助成金を出してもらえることになり、町の職員も頑張ってくれた。そのおかげで一気にスケールが大きくなった。5市5町のいろいろなところに顔出して、知らなかった人と触れ合うと、一人ひとりの身近に音楽がある気がしました。その地域のホールでコンサートを開くだけではなくて、できそうな場所を探しては音楽会をやる、可能な範囲で。これって、すごいなと思った。それも形式にとらわれずにやれるからもう最高だった。あれは本当に楽しくて仕方なかったね、僕は。だから知多半島中、70カ所以上の会場を回ったもんね。


ゆめホタル ® キャンドルナイト


金環日食を見よう


現代アートの鑑賞「Magic Shadow」（愛知工業大学情報科学部）


知多半島春の国際音楽祭 合唱構成「そうれっしゃがやってきた」

時代の流れは「指定管理」？　その時ゆめプラは…

髙　木：2016年の4月の町議会でゆめプラへの「指定管理者制度の導入については考えていない」という町からの答弁がありました。そこに至る様子を聞きたいのですが。

高　橋：一時期すごく「指定管理者制度」を取り入れよとの声が、議会の中や一般の方々の中からも出てきた時期がありました。しかし、あの答弁は、「文化創造プラン」の中に,「現在の運営体制に問題がなければこの体制で継続する」ということが書いてあることと、「協働のまちづくり」を目指す町の姿勢を踏まえての内容ではないでしょうか。詳しいことは分かりませんが。

犬　塚：そうですね。その頃に理事長をしていましたが、NPOたけとよで「文化のまちづくりセミナー」を開催して、町民や議員さんも交え多くの人と勉強しましたね。

高　橋：2008年と2013年に、帝塚山大学の中川幾郎先生(現在帝塚山大学名誉教授)を呼んで講演会を行いました。2014年は連続講座で3名の講師をお招きして話を聞きました。静岡文化芸術大学の片山泰輔先生(現在青山学院大学総合文化政策学部総合文化政策学科教授）、指定管理会社のアクティオ(株)の薬師寺智之さん（現在浦和レッズダイヤモンズ）からその実態の話を聞き、名古屋大学の清水裕之先生(現在名古屋大学名誉教授)に取りまとめていただきました。どっちが良い悪いと結論つけずにフラットな感じで現状はどうだろうみたいな話をしてもらいました。

犬　塚：いい意味でメリット、デメリットの両面を、住民、行政、NPOたけとよのメンバーのお互いが認識する講演だったと思います。ただ、NPOたけとよの中の運営の仕方とか考え方が変わったということはありませんでした。その時、「もし指定管理者制度を打診されたらどうする」と会員に聞きましたが、多くから「指定管理者制度のエントリーはやめよう」という声が出ました。ゆめプラの成り立ちから、現在の運営の実際に関わるところまで、そのベースには町との協働があるし、それこそ方向が変わることになると考えたのです。

＊ペニンシュラ＝半島

一番大事な「お金」のハナシ

髙　木：町からの予算面でよかったこと、逆に困ったことはありますか。

高　橋：ゆめプラがオープンしてからは以前からの信頼関係の中でいろいろな事業を進めていった。事務長が大岩さんから他の方に替わると、町職員が事業のやり方がわからなくなってきて、その分の予算もみんなNPOたけとよの方へつけてくれた。そういう意味で予算はだんだん膨らんできました。でも、武豊町の企業の法人税が減ったり、学校の耐震対策に予算をかなり廻したりして財政状況が厳しくなり、いろんなところを全部切り詰めていった。そこから、事業費がガタッと減ってきた。それまでは事務長さんが影響の少ないところを削りながら、予算申請を上手に乗り切ってくれたんだと思うけど、さすがにもう切るところがない状態で、今は事業費が半分以下になってきている。でも、学校アウトリーチはチケット収入はないけれども続けていきたいし、他にも地域の人に提供したい企画はあるし、NPOたけとよとしては厳しい財政状況です。

活動の継続に必要なこと

髙　木：最後に継続するために必要なこととしては、どんなことが考えられるかということを一人ひとりにお聞きします。

竹　本：やっぱり継続するには予算が必要ですね。武豊町も財政的に厳しいかもしれないけど、予算を確保できるような運動っていうか、取り組みをしたいなという気がします。

犬　塚：二つあるんだけど、一つは多くの人が関われるイベントがあると、今まで足を運ばなかった人も来てくれて、ますます活性化するのかなと思っている。二つ目はやはり、予算の件です。確かに、我々は一生懸命にその予算内で努力しているのだけれど、いよいよ魅力ある事業ができなくなってきているのではと思う。

櫻　場：最初はみんな熱意があっても、やっぱり熱は冷めるんだよね。そういう時にみんなを沸き立たせるイベントが必要だと思う。もちろん、町の取り組みもNPOたけとよの取り組みもお互いに認め合い、そこに参加した住民も喜び、どちらも評価するような、そういう仕組みが作れないかなと思っている。そんなイベントをみんなですることで、新陳代謝というか、新しい人もどんどん入ってくることになると思う。

左右木：やっぱり予算だと思います。それと、修繕などハード面での取り組みも大切です。計画を立ててはいるけれども、なかなかうまくいかないのかもしれないですが。それと、ゆめプラが、これからも武豊町と住民の人たちから大事な場所だと思ってもらえるようになることだと思う。昨年20周年の年で記念事業をいろいろやってきて、地域の人から「武豊にこういうところがあって本当に良かった。ずっと来るからね」と言ってもらえた。

高　橋：予算のことですね。NPOたけとよに資金が直接入るような仕組みも考える必要がありますね。

髙　木：ありがとうございます。私が思うのは、利用する人たちの若者率を上げることと、ゆめプラの集客対象地域を広げることです。ゆめプラに来る人たちは武豊町の人たちだけではないということを、もう一度認識して周辺の人たちとの連携を探っていく必要があるのではないかと思います。
本日は協働によるゆめプラの運営が、何故20年続いたのか、また、これからも続けていくためには何が必要かなどを皆さんと考えることができました。
まだまだ掘り下げなくてはならないこともあるとは思いますが、それは別の機会に譲りたいと思います。その時には、また別の若いメンバーが語り合うことになっていることを期待して終わりたいと思います。本日はお忙しい中ありがとうございました。


NPO たけとよの仲間

まとめ

20年続いてきたポイントをまとめると

- ●町が住民と積極的に協働しようとする姿勢を持っていたこと
- ●町職員とNPOたけとよの会員が互いに助け合う姿勢があったこと
- ●町がゆめプラをNPOたけとよだけでなく、多くの町民の活動意欲を引き出す場と位置付けてきたこと

になるのかなと思います。



ゆめプラの仲間より

ゆめプラとの出会いはかけがえのない財産

武豊町民劇団 TAKE TO YOU　代表　中山真人



武豊町民劇団 TAKE TO YOU 2024 年度定期公演「妖怪サミット」

ゆめたろうプラザと私といえばやっぱり武豊町民劇団TAKE TO YOU（以下TTY）。毎週ゆめたろうプラザを訪れ、劇団の仲間達と公演に向けて稽古に励んでいます。

中学時代に学校で「なんかとなりで工事してるなー」っと思ってた場所にまさかこんなに通うことになるとは。

入団する前に観たTTYの劇は屋内のホールではなく、屋外の水を張ったところに特設舞台を作り劇をやっていた。

当時はその大変さが分からなかったが、代表となった今ではその大変さがよく分かります。

劇団での活動の中で苦楽をともにする仲間と出会えたことや地域との繋がりを感じられることは私にとってかけがえのない財産です。

これからも枠にとらわれないジャンルを超えたハーモニーを奏でられる拠点として、文化芸術を発信していただくことを願っております。

未来へ奏でる、町民会館のメロディ

Swing Band TAKETOYO　バンドマスター　樫原明子



第 34 回スウィングバンドタケトヨ BIGBAND JAZZ コンサート「LOVE」

多目的ホールしかなかった武豊町に、建設準備から町民の意見が採用され、町民にとって必要な会館ができました。

私はジャズバンドの育成事業であるSBTに参加し活動しています。唯一無二の仲間と練習して、コンサートでは、響きの良いホールで演奏できます。地域の人々の温かい拍手や笑顔に触れ、会館が提供してくれた音楽活動はかけがえのないものとなっています。

そして、SBTを支えてくださる裏方の大切さを知りフロントスタッフのボランティアへの参加もすることにしました。町民の皆さんが楽しそうに利用されて、ボランティアの私たちにも「ありがとう」と声をかけてくださいます。「いい会館だね」と言われた時は嬉しく思いました。

会館はただの建物ではなく、多様な人々が集い、学び、交流し、新たな文化が生まれるところです。そこに関わっているすべての人々に感謝します。自慢できる町民会館がずっと存在している武豊町であって欲しいのと、次の世代にもこの場所の大切さを伝えていけたらと思います。

夢はここにある ～ 本物の舞台を、町の子どもたちへ

舞台芸術企画ゆめっぴ 代表　古賀真有



ゆめっぴ企画 第 19 弾
「ふわふわサーカス『ユニコーンくんと夢の世界の大冒険』」

武豊町に、立派なゆめたろうプラザという町民が集まれる施設ができ、その施設で、「遠くに行かなくても観られる、本物の舞台を子ども達に」を合言葉に、第1回公演より、ゆめたろうプラザと一緒に歩んだ、ボランティア団体、舞台芸術企画ゆめっぴも来年で20周年となります。

企画立案から、チラシ作成や配布、準備、開催と、やる事が目白押しの中、町職員の方や、NPOたけとよの皆さんに、本当にたくさん助けていただき、今までやってくることができました。

会員数が少なく、大変な事も多いですが、公演時のあの笑顔、驚きの表情、そして笑い声や感動の涙。それらを見ると、報われた思いでいっぱいになります。

私達は、これからも、最高のひとときを皆様に。ゆめたろうプラザとともに。

専門性を故郷に、未来へ応援を

武豊春の音楽祭2025 実行委員長　永井秀司



武豊春の音楽祭 2025『響け！「歓喜の歌」』

初めてゆめプラと関わらせていただいたのは、2008年度の音楽祭の「第九」でテノールの合唱指導に入らせてもらったときだったと思います。もう18年も前なのですね。その際勿論NPOたけとよの方々にもお世話になりました。

生まれた土地に自分の専門性を提供でき、貢献できることは誰にとっても喜びだと思います。あの当時の自分が音楽祭に育てていただいたように、今後は次世代の人材の活躍を応援しつつ、NPOたけとよの益々のご発展をお祈り申し上げます。

情熱から楽しさへ ～ 継続の力

モーニングコンサート実行委員会 監事　梅原泰世



ゆめプラモーニングコンサート

私の“ゆめたろうプラザ”とのかかわりは、「子育てネットワーカー」と言う立場で町民会館建設の準備段階での意見交換会や施設見学や学習会などに参加させていただいたことからスタートしました。

そして、創設時の「ＮＰＯたけとよ」に数年在籍し、現在は「モーニングコンサート実行委員」として活動しています。

周りの皆さんと比べると貢献度の少ない私なので、この20年余の活動を考えると、関係者の皆さんに対して感心というより感動に近い思いがあります。

実に驚きの実績なのですが、日々それを継続して実行している方々はいつも前向きで、本当に楽しそうに計画を話し合っています。

創設時には「ことを成し遂げる」にはやはり燃える情熱が必要なのかなと感じていましたが、事業を継続して行くには「楽しんで正解を探す」人がたくさんいることが成功の秘訣ではと考えるようになりました。

そんな素敵な人たちに出会えたことが私の幸せです。

ゆめたろうプラザに広がる感動と感謝

ゆめプラメイト 会長　中道ひかり



ゆめプラメイト総会「お楽しみ抽選会」

思えば、町民会館の計画段階から、武豊町役場の方々が私達の意見を聞いてくださり、町民会館を良いものにしようと努力してくださったことが、今のゆめたろうプラザにつながっています。

ゆめたろうプラザを町民の方々に喜んで利用していただける場所にしようと立ち上がったのが「NPOたけとよ」でしたね。

毎年限られた予算を最大限活用して、コンサートや演劇、講演会等を催してくださり、本当にありがたいといつも感謝しています。

NPOさんのおかげで毎年よいコンサートを聴くことができます。サロンコンサートには本当に素晴らしい演奏家が来てくださり、私達はリーズナブルな料金で素晴らしいコンサートが聴けます。

みなさんも名古屋まで行かなくても武豊でゆめたろうプラザで感動しましょう。ゆめプラメイトを利用してチケットを購入すれば、先行発売でさらにお安く買えます！利用しましょう！

NPOたけとよのみなさん、ありがとう！これからもよろしくお願いします。

ゆめプラの仲間より

ゆめプラが育む人生の彩り

武豊町文化協会 会長　小藤省吾



武豊町文化協会芸能祭「総踊り」

私とゆめたろうプラザとの関わりは、ゆめプラのオープンとともに始まった武豊春の音楽祭です。

第1回のタイトルは「武豊春の国際音楽祭」、楽器も弾けない、楽譜も読めない私がなぜ音楽祭の実行委員になったか、それも途中から。その理由はお世話になっている方が実行委員長で「断れなかったから」。

それを機にゆめプラで開催される各種コンサートや企画に足を運ぶようになり多くの感動や体験、発見をいただきました。文化、芸術に触れることは人生をとても豊かにしますね。今では町外で開催される絵画展やコンサートにもせっせと足を運ぶ私です。

武豊町の芸術、文化の発信基地、拠点としてこれからも素敵な企画で皆さんを楽しませてください。文化協会も会員一同、力を合わせて盛り上げていきます。期待しています。

裏方の努力が支える本物の体験

フロントスタッフ　金光徳子



コンサート開場中の様子

名古屋へコンサート、演劇に行くことは多く、そこで受付や会場案内をされる笑顔のスタッフがとても素敵で、こんな仕事が出来るといいな！といつも思っていました。

ゆめプラでのフロントスタッフの養成講座の案内に、時間を作ってでも参加したいと思いました。

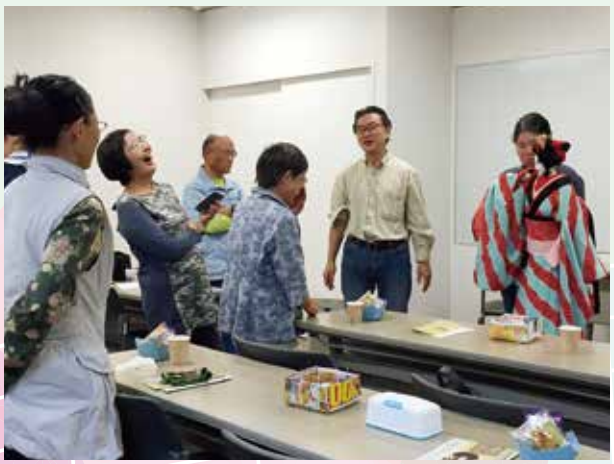
講習は、お客様への思い、会館の思い、スタッフのふるまいなど、自身の勉強にもなり、ボランティアの意味を学ぶ機会にもなりました。ボランティアの協力が大きな力になることはとても嬉しいことです。今の自分の生き方にも繋がっているように思います。

また、ゆめプラで行われた「武豊線物語『あこだん』」。その題材になった台風の日の出来事を、家まで来て母に取材してくださった高橋さん。90才の母は娘時代の記憶を呼び起こし溢れんばかりに話し出しました。その内容をまとめて紙面にして、武豊線のお話の中で取り上げてくださいました。ひとつの企画を造るために、よいものにするために、裏方の地味な努力は凄いな！と思うばかりでした。

ゆめたろうプラザがずっと地域に根付き、高いレベルで、本物を経験出来る場であり続けてほしいと願っています。

文化を届ける、ゆめプラス隊員の喜び

ゆめプラス　大久保るみ



ゆめプラスお楽しみ会では舞台の裏話を聞くことも…

ゆめたろうプラザは昨年20周年。言うまでもなく、武豊の文化、芸術、生涯学習を支える文化活動の拠点です。

いつもすばらしい演奏家の皆さんを探し、極上の内容のコンサート等を低価格で企画してくださるスタッフの皆様方には、心から感謝しております。

個人的にはモーニングコンサートやチケットセット販売等も面白い企画だと思っています。

それで、少しでもお役に立てばと思い、ゆめプラス隊員として近隣の人や友人にイベント情報を配布しています。それを見て今では「チケットを購入したよ」とか「配布を楽しみにしているよ」という言葉がけもいただきます。

迷われる方は、担当者のオススメコメントを参考にしてください。微力ながら、ゆめプラス隊員を続け、お手伝いしたいと思っています。

ゆめたろうでボケ防止

情報スタッフ　榊原芳宏



様々なイベントで記録撮影をします

「イベントの写真を撮るスタッフになりませんか？」って声掛けいただいたのは何時だったっけ？

映像編集の講座で初めてゆめたろうプラザに足を踏み入れて何年?

小学校時代の修学旅行の写真から始まって、家族ができて旅行や運動会でのスナップやらビデオやら、お父さんはけっこう忙しかった…。でも親離れが進んで、暇・ひま・ヒマ…何しよう？

「イベントの写真を撮るスタッフになりませんか？」

「やります！！！！」

でも俺でいいの？ほぼ写真の知識はありません、ただスナップ程度なら…。それから猛勉強(？)したかなあ～？

ゆめプラだよりの表紙　アレ？オレの撮ったコンサート写真！イイノ？オレので

それからは、ボケてる暇ありません。スタッフさんたちテキパキ！見てる俺も元気！(カナ？)　アレ？　ボケは写真だけでいいかな？

これから10年20年もっとMOTTOゆめたろうプラザが武豊町を元気にしてくれることを陰ながら願っています。

フロントスタッフ
フロントスタッフは会館主催のコンサートでお客様をお出迎えするボランティアスタッフです。

ダ・ヴィンチスタッフ
ダ・ヴィンチスタッフは、主に「芸術と科学のハーモニー事業」で行われる講座のお手伝いをするボランティアスタッフです。ダ・ヴィンチスタッフという名称はレオナルド・ダ・ヴィンチに由来しています。

情報スタッフ
情報スタッフはコンサートや講座の記録撮影を行います。
※フロント、ダ・ヴィンチ、情報スタッフの主管は武豊町民会館

ゆめプラス
ゆめたろうプラザ主催事業のちらしを手から手へ身近な方に届けるお手伝いをするボランティアです。
※主管は NPO たけとよ

ゆめプラが広げてくれた私の世界

ダ・ヴィンチスタッフ　和田いり江



ゆめプラ人気講座「レゴロボット製作教室」での様子

ゆめたろうプラザとの付き合いはダ・ヴィンチスタッフとして濃ぃ～いものになったのは確かです。スタッフになる前の自分は子供達に工作等を教える事より我が身が楽しむことが一番で～今でもそれは変わってないのですが…。

ゆめプラで出会った友人や経験は私の世界を一段と広げてくれ、生き甲斐を与えてくれています。そんな有り難い存在なんです…私にとってのゆめたろうプラザは！



開館当初から続く
「モデルロケット製作教室
＆打ち上げ大会『大空杯』」
の様子



プロの映像作家に学ぶ
「アニメーション制作講座」
の様子



「見る」を追及する
「石膏デッサン体験教室」
の様子

ゆめたろうプラザ開館20周年記念メッセージツリー「二十歳のゆめプラへ」に集まったコメント

※スペースの都合上、一部お祝いの言葉を割愛させていただいています。

▶この会館ができると知った時とても期待しましたが、期待通りというかそれ以上でした。本当に20年間よく利用させていただき楽しみました。すばらしい演奏家の皆様をこの価格で呼んで下さるなんて本当にありがたい。スタッフの皆様の努力、尽力に心から感謝いたします。これからもよろしくお願い致します。

▶芸能人のコンサート、劇団や松竹のお芝居、講演会等、名古屋や東京まで行かずに楽しむことができました。文化祭で作品を出品したり、ステージに立ったり、お茶会に参加したり、数えきれないくらいたくさんの楽しい思い出があります。携わってくださったすべての方々に感謝します。ありがとうございました。

▶お陰様で沢山の素晴らしいアーティストの方々に出会え、ステキな時を過ごさせていただきました。本当にありがとうございます。ゆめたろうプラザは皆の心のテーマパークのような存在だと思っています。これからも益々、皆のパラダイスとなっていただきたく願っています。

▶ゆめプラ構想に向けて話し合ってた当時の生き生きしたみなさんの姿を鮮明に覚えています。(残念ながら仕事で参加出来ていませんが…) それから20年 !!
“文化” “芸術” の花を咲かせ続けていただきありがとうございます。これからも応援しています !!

▶その 20 年の内で私が関わらせて頂いた公演やアウトリーチやワークショップはどれも全て私の仕事の中で特別な記憶になっています。これからもクレイジーなマンパワーにガジガジとオモシロというガソリンを注いでいけるように頑張りますので、末永くよろしくお願い致します！



館内に設置されたメッセージツリー

▶初めて輝きホールに立たせていただいた時の震えるほどの感動は忘れません。会館の方々、スタッフの方々、皆舞台を良くするために同じ方向を向いてくださっていて。それは今も変わりません。感謝でいっぱいです。ありがとうございます。

▶数年前に亡くなった伯父のハーモニカ演奏会が今も心に残っています。発表会に母と共に何度か足を運び、いつもは真面目で物静かな伯父がとても輝いて見えたステージを懐かしく思います。これからもすてきなハーモニーが続きますように。

▶武豊の文化の発信地のゆめプラ20年間に数えきれない演奏会、講演会で感動や出会いがつまっています。変わらずこれからもずっと歩み続けていってほしいと願っています。



2023年度サイエンストーク「だしの科学」(オリジナルカップ麺を作ろう)

▶私は 8 年後に成人式を迎えます。 5 年生の時にここでオリジナルカップ麺を作りました。これからもがんばれ！ゆめプラ！

▶毎回、夢のある素敵なコンサートをお値打ちに鑑賞させて頂き感謝しています。今後も心に響くコンサートをよろしくお願いします。

▶退職後に自宅から近いゆめたろうプラザで様々な分野の企画を楽しめて感謝一杯です。低料金、駐車場も広く無料そしてスタッフの皆さまの笑顔にいつも癒されています。

▶「ゆめたろうプラザ」なんてステキな響きの会館名でしょう !! これからも行きたくなる会館でいてください！応援しています。

▶ゆめプラのコリドールに飾られた数々の歴史の記録をうっとりと眺め、感慨無量です。退職後の 20 年、私の人生を豊かにしてもらいました。それは武豊町の文化も豊かにしているということです。この素晴らしい活動が受け継がれていきますように願ってます。

▶この間、町民によるミュージカル、モーニングコンサート、音楽 (プロによる)、鑑賞、歌手によるコンサート等、たくさん楽しませて頂きました。これからもここに通いたいと思います。

▶建物も人もゆめプラはすばらしいと思います。ここでたくさんのすてきな体験を子どもにさせてあげたいです。そしてゆめプラ大好きっ子にします !!

▶私の人生を変えてくれたゆめプラ。いつも本当にありがとうございます。まだまだ通い続け、楽しい事たくさんやりたいと思いますのでこれからもよろしくお願いします。

▶息子がゆめたろうプラザで成人式をしてから 20 年！40 才になる息子にも子供が 3 人できました。幸せなおばあちゃんです。

▶ゆめプラメイトになって 1 年。楽しい時間をたくさん頂きました。これからもステキな人達に出会える場所でいて下さい。

▶子どもたちのピアノの発表会やイベント、和室を貸し切ってクリスマス会…たくさんの思い出ができました !! 20th おめでとう＆ありがとう。

▶素晴らしいひと時、本当に感謝の気持ちで一杯です。これからもどうぞよろしくお願い致します。

ちょっと脱線、ゆめプラ四方山話

NPO たけとよ発足から21年。ひとことでは語れないアンナコトやコンナコト。
印象に残っているエピソードをご紹介いたします。


子ども達も楽しそう！


人気の音楽 teacher

ゆめホタル®　フィジーに行く

事の始まりは愛知万博。武豊町のフレンドシップ国のフィジーで、「澄んだ海岸に武豊町オリジナルイルミネーション『ゆめホタル®』を灯したい」という一言から、南太平洋大学の学生やナマタクラ村小学校の子どもたちとのワークショップが実現。薄暗い教室なのに目を輝かせて製作する姿に驚き、武豊から持ち込んだキーボードに合わせて自然にハモる姿とリズム感に、スタッフは感動した。その夜、一緒に作ったゆめホタル® が海岸に灯り、風に揺れた。翌日「音楽 teacher は残れ」とせがまれ、アートや文化が心をつなぐ力を実感した。



たくさんのポスターでいっぱい

マニア垂涎モノの宝箱

「小惑星探査機はやぶさ帰還カプセル展示」に合わせ、NPO たけとよとダ・ヴィンチスタッフが中心となり製作した「はやぶさ実物大模型」は、JAXA が設計図流出を心配するほどの完成度だった。全国の展示施設からの依頼で巡回すると、外箱にはイベントポスターやプレミアムシール、さらには飛不動尊や中和神社のお守りまで貼られ、マニア垂涎の装飾が日に日に増えていった。巡回を終え日本宇宙フォーラムに収められた際に贈られた銀メダルは、今も響きホールのホワイエに飾られている。

プロは１ミリも妥協しない

二年越しで招いた大人気の現代アーティスト、クワクボリョウタさんのために、情報考房の中に白壁の部屋を作った。その完成度に彼は「おー、今までで一番いい環境です！」と喜んでくれた。しかし暗くすると、天井や壁の隙間からほんの少しの光が漏れている…。指摘を受けてスタッフは半日かけて黙々と詰め物をした。作家は「この１ミリが気になる。ここの傾きがまずいな」と言いながら制作を続けた。四国から来た美術館学芸員も「スゴイ部屋を作りましたね」と感心し、スタッフの顔には誇らしい笑みが浮かんだ。

デンゲキビリビリでみんながひとつになった！

2010年4月、子ども達のアンケートで「呼んでほしい人」人気ナンバーワンだったでんじろう先生のサイエンスショーが実現。チケットは即完売、当日は欠席者ゼロという記録的な盛況ぶり。特に印象的だったのは「人間電線」の実験。666人の観客が順番に手をつないでいく。「絶対に離してはダメですよ」との先生の声に緊張が走り、「3･2･1 ！」のカウントダウン後、「わっ！」「すげー！」と驚きの声が次々に響く。何が起きたのか舞台袖にいた公演担当者には謎のままだったが、その熱気と興奮は会場全体をひとつにしていた。

海賊 ーバイキングー

ノルウェーから海の男たち「ストーム・ウェザー・シャンティ・クワイヤ」が響きホールに登場。会場は飲み物やつまみ持ち込み OK のライブハウスに大変身。ステージに旗を飾ろうとすると「ワスレタヨ」との返事。なんとノルウェーに忘れてきたとのこと…　そこで舞台スタッフが急遽スクリーン用の白布を吊るし、旗の画像を投影すると、ステージ正面に巨大な海賊旗が出現！言葉の壁を越えたバイキングたちの熱いサウンドに、客席はオールスタンディング。まさにノルウェーの酒場さながらの盛り上がりだった。

実物大まさよしくん人形が登場！

2023年7月、コロナ禍で続いていた客席制限が解除され、久しぶりの目玉企画として山崎まさよしさんの公演が開催された。担当者たちは「インパクトがあって他の会場にはないお迎えを！」と熱く議論。その結果生まれたのが、なんと山崎さんの実物大人形。造形作家・関口光太郎さんの「新聞紙とガムテープで作る彫像」に刺激を受け、公演リーダーが日夜コツコツと製作した。特徴をとらえた人形は来場者を驚かせ、山崎さん本人にも関口さんにも大好評。今ではリーダー宅に鎮座し、あの日の熱気を静かに伝え続けている。


山崎さんも思わずニヤリ


髙木さんはどんな時もさわやかな笑顔

僕、サウナ好きなんです

2023年9月、記録的な猛暑が続いたこの夏、ピアニストの髙木竜馬さんによる漫画「ピアノの森」を題材にした演奏会が行われた。ところが当日、ホールの空調がまさかの故障！満席の客席も舞台上も、まるでサウナのような熱気に包まれた。それでも髙木さんは、曲ごとに舞台袖で冷水を飲み、扇風機で涼をとりながら最後まで素晴らしい演奏を届けてくれた。終演後にお詫びを申し上げると、「僕、サウナ好きなんです」と優しい笑顔。舞台裏は温かい空気に包まれ、一同ホロリ。ますます応援したくなるひとときだった。

2016 年度

ウィハン弦楽四重奏団



宇崎竜童



白石加代子「百物語」



清塚信也　石田泰尚



反田恭平

矢野顕子



コルミッコ



石膏デッサン体験講座



楽しいアートレクチャー





アフレコ体験講座

2016年度の主な出来事

- 4月 熊本地震、死者 150 人超
- 8月 平成天皇陛下、退位の意向示唆


コープス「キャンプしましょう、おひめさま」


ニコライ・サラトフスキー


KAKUTA　アルケミスト
「ねこはしる」


星プロジェクト


現代アートの鑑賞
「Magic Shadow」


レゴロボット製作教室

事業一覧

鑑賞事業	音　楽	▶ゆめプラサロンコンサート 2016（年 6 回実施） ○石川滋（コントラバス）、鈴木慎崇（ピアノ） ○松田理奈（ヴァイオリン） ○ニコライ・サラトフスキー（ピアノ）/ ロシア ○村治奏一（ギター） ○コルミッコ＜かとうかなこ（クロマチック･アコーディオン） 愛川聡（ギター）、田島隆（タンバリン）＞ ○反田恭平（ピアノ） ▶矢野顕子リサイタル 2016　～ピアノ弾き語り～ ▶Code " M " 美宇宙の響宴 in たけとよ ▶清塚信也 × 石田泰尚 デュオ・コンサート
	伝統芸能	▶レクチャー公演 8　安田文吉「歌舞伎レクチャー」
	演　劇	▶白石加代子「百物語」シリーズ－アンコール公演－
	こども向け	▶学校アウトリーチ 岩田卓也＆MAKI　尺八＆ピアノ デュオ・コンサート
	謝恩事業	▶ウィハン弦楽四重奏団 / チェコ ▶コープス「ひつじ」「キャンプしましょう、おひめさま」/ カナダ ▶宇崎竜童　弾き語り LIVE2016 JUST GUITAR JUST VOCAL
	共催･協力事業	▶桑原裕子　演劇ワークショップ KAKUTA とアルケミスト　うたとことばの朗読音楽会「ねこはしる」 （主催：舞台芸術の魅力発信事業実行委員会）
芸術と科学のハーモニー事業	ゆめホタル®	▶ゆめホタル®　アウトリーチ活動
	アニメーション	▶日用品 de トランスフォーム！ ▶話し方体験講座～声・滑舌編～、～プレゼン編～ ▶アフレコ体験講座
	ロボット	▶レゴロボット製作教室（初級・中級・上級・オトナ）
	天文･宇宙	▶モデルロケット製作教室＆打ち上げ大会 ▶星プロジェクト「天体望遠鏡製作教室」 ▶JAXA コズミックカレッジ（キッズ・ファンダメンタル）
	ものづくり･体　験	▶からくり工作教室　▶大人の木工教室 ▶ゴム銃製作教室＆競技会
	レクチャー	▶石膏デッサン体験講座（はじめて・ステップアップ）、作品展示会 ▶楽しいアートレクチャー「デスカイザーと君だけのダンボールモンスターを作ろう」 ▶現代アートの鑑賞　愛知工業大学　情報科学部　水野慎士研究室 『映像と音との新しいインタラクション』 「Magic Shadow」「不思議なスケッチブック」「CG の池」 ▶サイエンスレクチャー　渡部潤一「宇宙人はいる？いない？ ー宇宙生命の存在に迫るー」 ▶地元企業技術者との連携事業サイエンストーク 東海カーボン(株) 炭の科学「カーボンブラックのブラックパワー」 JFE スチール(株) 鉄の科学「鉄の不思議」
情報発信	情報発信	▶文化のまちづくりセミナー第 10 弾「文化事業から文化政策へ」 ～幸福度ナンバーワンをどうセールスするか～ 林健次郎 ▶ゆめプラ通信発行活動 ▶ゆめプラブログ ▶広報物制作事業 ▶ゆめプラス

■11 月 アメリカ大統領選 トランプ氏勝利
■12 月 国民的アイドルグループ「SMAP」解散

2017 年度

保育園アウトリーチ／人形劇団プーク
「ハリネズミと金貨」



イルカ



エンリケ・クッティーニ楽団



ratio「RECIPe －レシピ－」

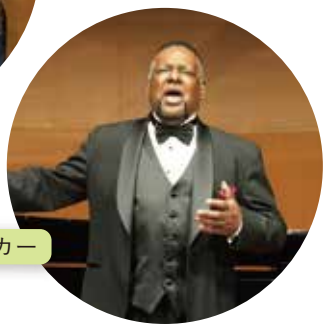


コープス「ひつじ」



レクチャー公演
「日本舞踊のい・ろ・は」





ロバート・ハニーサッカー

ゴム銃製作教室＆競技会



大人の木工教室





楽しいアートレクチャー

2017年度の主な出来事

■4月 フィギュアスケート・浅田真央選手引退
■7月 九州北部で豪雨



現代アートの鑑賞
「trans-floor!-play ground!」

白石加代子「笑った分だけ、怖くなる VOL.2」



サイエンストーク「発酵の科学」



JAXA コズミックカレッジ





からくり工作教室



レゴロボット製作教室

事業一覧

鑑賞事業

音　楽	▶ゆめプラサロンコンサート 2017（年 6 回実施） ○菊本和昭（トランペット）、佐竹裕介（ピアノ） ○ロバート・ハニーサッカー（黒人霊歌）、安田紀子（ピアノ）/アメリカ ○江藤良人（ドラム）、井上陽介（ベース）、中嶋美弥（ピアノ） ○コハーン・イシュトヴァーン（クラリネット）、村田千佳（ピアノ） ○瀧村依里（ヴァイオリン）、鈴木慎崇（ピアノ） ○彌勒忠史（カウンターテナー）、MAKI（ピアノ） ▶イルカほのぼのコンサート～ We Love You Planet ！～
伝統芸能	▶レクチャー公演 9　西川千雅　「日本舞踊のい・ろ・は」
演　劇	▶白石加代子女優生活 50 周年記念「笑った分だけ、怖くなる VOL.2」
舞　踊	▶エンリケ・クッティーニ楽団「タンゴエモーション」/ アルゼンチン
こども向け	▶学校アウトリーチ　ratio　パフォーマンス体験ワークショップ
その他	▶NPO たけとよ ×ratio 特別公演　「RECIPe- レシピ -」
謝恩事業	▶コープス「ひつじ」/ カナダ ▶人形劇団プーク　保育園アウトリーチ「ハリネズミと金貨」
共催・協力事業	▶コープス演劇ワークショップ / カナダ ▶成清正紀「感じる」ワークショップ ▶市民参加型 戯曲リーディング公演『痕跡《あとあと》』 主催：舞台芸術の魅力発信事業実行委員会

芸術と科学のハーモニー事業

ゆめホタル®	▶ゆめホタル®　アウトリーチ活動
アニメーション	▶日用品 de トランスフォーム！ ▶話し方体験講座～声・滑舌編～、～プレゼン編～ ▶アフレコ体験講座
ロボット	▶レゴロボット製作教室（初級・中級・上級・オトナ）
天文・宇宙	▶モデルロケット製作教室＆打ち上げ大会 ▶星プロジェクト「天体望遠鏡製作教室」「ゆめプラ星空観察会」「GIGASTAR®SKY 制作教室」 ▶JAXA コズミックカレッジ（キッズ・ファンダメンタル）
ものづくり・体　験	▶からくり工作教室　▶大人の木工教室 ▶ゴム銃製作教室＆競技会
レクチャー	▶石膏デッサン体験講座（はじめて・ステップアップ）、作品展示会 ▶楽しいアートレクチャー「ガムテープで君だけのダンボールコスチュームを作ろう」 ▶現代アートの鑑賞　IAMAS メディアサイト研究会（高見安紗美、具志堅裕介、後藤良太、市野昌宏、大石桂誉） 『うごき→あそび』「trans-floor! -play ground!」「おスイッチ！」 ▶サイエンスレクチャー　櫻井進「わくわく数の世界の大冒険 ー世界は数学でできている。」 ▶地元企業技術者との連携事業サイエンストーク (合)中定商店 発酵の科学「みそたまを作ってみそしるを味わおう！」 (株)ニートレックス ダイヤモンドの科学「知ってるかな？ダイヤモンドの世界」

情報発信

情報発信	▶文化のまちづくりセミナー第 11 弾 特別プログラム Ⅰ現場から考える「文化の薫る町」って何のこと？／榎本広樹 Ⅱアートとまちづくり／蓮見孝 Ⅲ未来を創るリーダーシップ／鬼澤慎人 Ⅳ新時代の地域を創造する人財の育て方～小美玉市まるごと文化ホール計画／中本正樹 ▶ゆめプラ通信発行活動　▶ゆめプラブログ ▶広報物制作事業　▶ゆめプラス

■ 7 月 核兵器保持など幅広く禁止する「核兵器禁止条約」が国連で採択

■ 9 月 陸上・桐生祥秀選手 100m 9 秒台達成

2018 年度



ストーム・ウェザー・シャンティ・クワイヤ

石田泰尚



レクチャー公演
「わくわく講談塾
in たけとよ」




アウラ × ゆめホタル®


サイエンスレクチャー
ブラック星博士

シアタートレ「ぐっすりおやすみ」




現代アートの鑑賞
「スマイル・ワールド」

カルテット・スピリタス



楽しいアートレクチャー




中学校アウトリーチ
兵藤友彦「演劇表現」

2018年度の主な出来事

- 6月 18歳成人改正民法成立
- 9月 歌手 安室奈美恵さん引退


SIRO-A

THE NEWSPAPER




モデルロケット打ち上げ大会

ゆめホタル®
ワークショップ




ゴム銃製作教室＆競技会


サイエンストーク特別版

事業一覧

鑑賞事業	音　楽	▶ゆめプラサロンコンサート 2018（年 6 回実施） ○ストーム･ウェザー･シャンティ･クワイヤ（男声合唱）/ ノルウェー ○カルテット・スピリタス（サクソフォン四重奏） ○赤松林太郎（ピアノ） ○ハンブルクトリオ（ピアノ三重奏）/ ドイツ ○クインテット・アッシュ（木管五重奏） ○トリオ “N”（ヴァイオリン、トロンボーン、ピアノ） ▶オカリナ七重奏団 G.O.B. －ゴブ －/ イタリア ▶稲垣潤一コンサート 2018 ▶ヴァイオリンリサイタル 石田泰尚の世界
	伝統芸能	▶レクチャー公演 10「神田京子のわくわく講談塾 in たけとよ」
	演　劇	▶結成 30 周年記念公演 「社会風刺コント集団 THE NEWSPAPER in 武豊」
	こども向け	▶中学校アウトリーチ　兵藤友彦　レッスン「演劇表現」 ▶学校アウトリーチ カルテット・スピリタス「That’s エンターテイナー！ II」 ▶リージョナルシアター　田上豊（演劇 WS） ▶シアタートレ「ぐっすりおやすみ」/ スウェーデン
	謝恩事業	▶SIRO-A LIVE SHOW テクノサーカス ▶テクノサーカス　おえかきワークショップ ▶アウラ × ゆめホタル ® クリスマスコンサート「聖なる歌声」
芸術と科学のハーモニー事業	ゆめホタル®	▶ゆめホタル®　アウトリーチ活動
	アニメーション	▶日用品 de トランスフォーム！ ▶話し方体験講座～声・滑舌編～、～プレゼン編～ ▶アフレコ体験講座
	ロボット	▶レゴロボット製作教室（初級・中級・上級・オトナ）
	天文･宇宙	▶モデルロケット製作教室＆打ち上げ大会 ▶星プロジェクト「天体望遠鏡製作教室」「ゆめプラ星空観察会」 ▶JAXA コズミックカレッジ（キッズ・ファンダメンタル）
	ものづくり･体　験	▶クラフトラボ「LED ブラックホールを作ってみよう」 ▶ゴム銃製作教室＆競技会
	レクチャー	▶石膏デッサン体験講座、作品展示会 ▶楽しいアートレクチャー「ガムテープで君だけのダンボールコスチュームを作ろう」 ▶現代アートの鑑賞　大石暁規 + 赤松正行 + ARART プロジェクト 『スマイル・ワールド / 未確認浮遊物体』展 「スマイル・ワールド」「未確認浮遊物体」 特別ワークショップ『スマイル・ワールド』を作ろう！ ▶サイエンスレクチャー　油井亀美也「教えて油井さん！ ～宇宙から見た私たちの地球～」、井上毅「ブラック星博士 東海征服計画 in たけとよ」 ▶地元企業技術者との連携事業サイエンストーク特別版 (株)エイゼン「追跡！資源リサイクル現場　～未来のために減らして活かす～」
情報発信	情報発信	▶ゆめプラ通信発行活動 ▶ゆめプラブログ ▶広報物制作事業 ▶ゆめプラス

■９月 テニス・大坂なおみ選手が全米オープンで初優勝

■2019/3 月 野球・イチロー選手が引退表明

2019 年度

反田恭平　務川慧悟



カルテット・アマービレ



清水ミチコ



レクチャー公演「Let's go 詠歌」



エル・パティオ
「A MANO（ア・マノ）」



塚越慎子



上野耕平



JAZZ の森 －ジブリ × ゆめホタル®



話し方講座





サイエンストーク「だしの科学」

2019年度の主な出来事

■ 5 月 皇太子徳仁親王殿下が第 126 代天皇に即位。「令和」に改元
■ 7 月 京都アニメーション放火事件。36 人死亡


ズーラシアンブラス


保育園アウトリーチ／中川賢一


南 里沙


たいらじょう「毛皮のマリー」


レゴロボット製作教室


右来左往　演劇ワークショップ

事業一覧

鑑賞事業	音　楽	▶ゆめプラサロンコンサート 2019（年 6 回実施） ○上野耕平（サクソフォン）　関連企画　上野耕平公開レッスン ○中川賢一（ピアノ）　関連企画　「展覧会の絵」公開リハーサル ○南里沙（クロマチック・ハーモニカ） ○カルテット・アマービレ（弦楽四重奏） ○塚越慎子（マリンバ） ○川口成彦（フォルテピアノ）　関連企画　川口成彦レクチャーコンサート ▶反田恭平＆務川慧悟　2 台ピアノの競演 ▶清水ミチコ　トーク & ライブ 2019 in たけとよ ▶ジブリ×ジャズ×ゆめホタル®クリスマスコンサート「JAZZの森」 ▶フリスペル 華やかなるバロックリコーダー / スウェーデン　※中止
	伝統芸能	▶レクチャー公演 11　池戸義久「Let's go（ご） 詠歌～詠い継がれる心の調べ～」
	演　劇	▶人形劇俳優たいらじょう「毛皮のマリー」 ▶右来左往　演劇ワークショップ「別の自分に出会いたい！ Part4」
	こども向け	▶保育園・学校アウトリーチ 中川賢一「無限のイマジネーション～時空を超えて～」 ▶ズーラシアンブラス「音楽の絵本　アミーゴ」 ▶2019ジョイントフェスティバル愛知「A MANO（ア・マノ）－手によって－」/スペイン
	その他	▶ゆめプラ ONE コイン映画会「ペンギン・ハイウェイ」 ～石田祐康監督を迎えて～ ▶「ペンギン・ハイウェイ」原画展
芸術と科学のハーモニー事業	ゆめホタル®	▶ゆめホタル®　アウトリーチ活動
	アニメーション	▶日用品 de トランスフォーム！ ▶話し方講座～声・滑舌編～、～プレゼン編～ ▶アフレコ体験講座
	ロボット	▶レゴロボット製作教室（初級・中級・上級・オトナ）
	天文・宇宙	▶モデルロケット製作教室＆打ち上げ大会 ▶星プロジェクト「天体望遠鏡製作教室」「ゆめプラ星空観察会」 ▶星プロジェクト「MILLEA 星空コンサート」 ▶JAXA コズミックカレッジ（キッズ・ファンダメンタル）
	ものづくり・体　験	▶クラフトラボ「LED ブラックホールを作ってみよう」 ▶ゴム銃製作教室＆競技会
	レクチャー	▶石膏デッサン体験講座（はじめて・ステップアップ）、作品展示会 ▶楽しいアートレクチャー「ガムテープで君だけのダンボールコスチュームを作ろう」 ▶現代アートの鑑賞 『中村元道～プロジェクションマッピングとモンスターアート』 「Mush Marsh」「中村元道プロジェクションマッピングの軌跡」 「みんなで色ぬり！カラフルモンスター」/ アメリカ ギャラリートーク＆レセプション ▶サイエンスレクチャー　中垣哲也「くまが命をつなぐアラスカでオーロラを見てみよう」、「宙いっぱいのオーロラに包まれてみませんか？」 ▶地元企業技術者との連携事業サイエンストーク 日油（株）ゲル化の科学「いつもと違うオリジナルスライムを作ろう！」 ユタカフーズ（株）だしの科学「オリジナルカップ麺を作ろう！」
情報発信	情報発信	▶文化のまちづくりセミナー 12 弾「西村浩の公共空間の使い方が変われば、ひょっとしたらまちは変わるんじゃないかと思っている今日この頃のお話」　西村浩　※中止（2020 年度に延期） ▶ゆめプラ通信発行活動　▶ゆめプラブログ ▶広報物制作事業　▶ゆめプラス

■９月 ラグビー W 杯日本大会開幕。日本代表初の８強入りを果たす

■10月 消費税率 10％スタート

2020 年度



礒 絵里子　田村 緑



ギラ・ジルカ



声優朗読劇 フォアレーゼン
「ここに一ふりの太刀ありせば」

石膏デッサン体験講座





ラウム

サイエンストーク
「道路の科学」





コズミックカレッジ



文化のまちづくりセミナー / 西村浩

2020年度の主な出来事

- ■4月 新型コロナ感染拡大、緊急事態宣言発令
- ■7月 将棋・藤井聡太七段が史上最年少でタイトル（棋聖）獲得


務川慧悟


高橋多佳子


星プロジェクト


話し方講座


スマホ / タブレットで
つくるコマ撮りアニメ

事業一覧

鑑賞事業	音　楽	▶ゆめプラサロンコンサート 2020（年 6 回実施） ○務川慧悟（ピアノ） ○かとうかなこ（クロマチック・アコーディオン） 田島隆（タンバリン）※2021 年度に延期 ○オーケストラ･アンサンブル金沢 カルテット(弦楽四重奏)※2021年度に延期 ○ギラ・ジルカ（ジャズ・ヴォーカル）、竹中 俊二（ギター） 中島 徹（ピアノ） ○セリーナ･オット(トランペット)/オーストリア ※2021年度に延期→中止 ○礒 絵里子（ヴァイオリン）、田村 緑（ピアノ） ▶高橋多佳子 生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会 ピアノ版 ▶ラウム歌声サロン ▶クアルトナル☆クリスマスコンサート / ドイツ ※中止
	演　劇	▶声優朗読劇 フォアレーゼン「ここに一ふりの太刀ありせば」 ▶演劇ワークショップ ※中止
	こども向け	▶学校アウトリーチ かとうかなこ＆田島隆「愉快　軽快　音楽のびっくり箱 ～思わずカラダが動き出す～」※2021 年度に延期 ▶コンドルズの「遊育計画」※2021 年度に延期→中止
芸術と科学のハーモニー事業	ゆめホタル®	▶ゆめホタル®　アウトリーチ活動
	アニメーション	▶スマホ / タブレットでつくるコマ撮りアニメ ▶アフレコ体験講座
	ロボット	▶レゴロボット製作教室（初級・中級）※上級・オトナは中止
	天文･宇宙	▶モデルロケット製作教室＆打ち上げ大会 ▶星プロジェクト「天体望遠鏡製作教室」「ゆめプラ星空観察会」 ※星空観察会はスタッフのみ。一般向けは中止 ▶コズミックカレッジ（キッズ・ファンダメンタル）
	ものづくり･体験	▶ゴム銃製作教室＆競技会
	レクチャー	▶石膏デッサン体験講座、作品展示会 ▶楽しいアートレクチャー　関口光太郎「新聞紙で彫刻をつくろう ～秘密兵器はガムテープ～」ワークショップと彫刻展 ▶「ガムテープで君だけのダンボールコスチュームを作ろう !! with 魔界帝王デスカイザー」※2021 年度に延期 ▶話し方講座～声・滑舌編～、～プレゼン編～ ▶現代アートの鑑賞　的場やすし ※2021 年度に延期 ▶サイエンスレクチャー　佐々木洋「身近な生き物が教えてくれること」 ▶地元企業技術者との連携事業サイエンストーク 日本化学(株)「色とりどりのカプセルを作ろう！」 岩部建設(株)「道をつくる 道のり物語～道路ってどうやってできるの？～」
情報発信	情報発信	▶文化のまちづくりセミナー12弾「西村浩の公共空間の使い方が変われば、ひょっとしたらまちは変わるんじゃないかと思っている今日この頃のお話」西村浩 ▶ゆめプラ通信発行活動　▶ゆめプラブログ ▶広報物制作事業　▶ゆめプラス

■10 月 劇場版「鬼滅の刃 無限列車編」の公開により大ヒット

■12 月 はやぶさ 2　カプセル帰還

2021 年度



名古屋フィルハーモニー交響楽団

YAMATO String Quartet



デュオ・パッシオーネ



MILLEA 星空コンサート



ゆめホタル® 半田赤レンガ建物



ラウム





彌勒忠史　MAKI codeM

石膏デッサン体験講座



学校アウトリーチ／かとうかなこ　田島隆



ゴム銃製作教室＆競技会



2021年度の主な出来事

■7月 東京五輪、コロナ禍を理由とし史上初の一年延期を経て開幕

■12月 野球・大谷翔平選手メジャー MVP に。投打の「二刀流」で歴史的な活躍

クロワッサンサーカス



星プロジェクト





ダンボールコスチューム



レゴロボット製作教室

スマホ / タブレットで
つくるコマ撮りアニメ





コズミックカレッジ

事業一覧

鑑賞事業	音　楽	▶ゆめプラサロンコンサート 2021（年 6 回実施） ○かとうかなこ（クロマチック・アコーディオン）、 田島隆（タンバリン） ○オーケストラ･アンサンブル金沢　カルテット（弦楽四重奏） ○彌勒忠史（カウンターテナー）、MAKI codeM（ピアノ） ○菊本和昭（トランペット）佐竹裕介（ピアノ） ○八木大輔（ピアノ） ○デュオ･パッシオーネ＜礒 絵里子(ヴァイオリン)、河野智美(ギター)＞ ▶YAMATO String Quartet（弦楽四重奏） ▶ラウム歌声サロン 2
	こども向け	▶学校アウトリーチ かとうかなこ＆田島隆「愉快　軽快　音楽のびっくり箱 ～思わずカラダが動き出す～」※2 学年実施 ▶クロワッサンサーカスショー ▶クロワッサンサーカスショー　綱わたり＆ジャグリング体験
	その他	▶ゆめプラ ONE コイン映画会 「ディリリとパリの時間旅行」「イエスタデイ」「グリーンブック」
	共催･協力事業	▶あいちオーケストラフェスティバル 2021 名古屋フィルハーモニー交響楽団「華麗なるニューイヤーの夕べ」
芸術と科学のハーモニー事業	ゆめホタル®	▶ゆめホタル®　アウトリーチ活動
	映像メディア	▶スマホ / タブレットでつくるコマ撮りアニメ ▶アフレコ体験講座
	ロボット	▶レゴロボット製作教室（初級・中級）※上級・オトナは中止
	天文･宇宙	▶モデルロケット製作教室＆打ち上げ大会 ▶星プロジェクト「天体望遠鏡製作教室」「ゆめプラ星空観察会」 ▶星プロジェクト「MILLEA 星空コンサート」 ▶コズミックカレッジ（キッズ・ファンダメンタル）
	ものづくり･体験	▶クラフトラボ（スタッフ研修） ▶ゴム銃製作教室＆競技会
	レクチャー	▶石膏デッサン体験講座、作品展示会 ▶アートレクチャー　チャッピー岡本「クリスマスカブリモノ変身塾」 ▶「ガムテープで君だけのダンボールコスチュームを作ろう !! with 魔界帝王デスカイザー」 ▶話し方講座～声・滑舌編～、～プレゼン編～ ▶現代アートの鑑賞　的場やすし『砂が水になる？ビーズが宙を舞う？流動床インターフェースとスプラッシュディスプレイの世界』「流動床インターフェース」「スプラッシュディスプレイ」 ▶サイエンスレクチャー　渡辺佑基「カメラをつけて大追跡！海の動物たちが見る景色～あっと驚く不思議な自然界へようこそ～」 ▶地元企業技術者との連携事業サイエンストーク 東海カーボン(株)　炭の科学「カーボンブラックのブラックパワー」 JFEスチール(株)　鉄の科学「鉄の不思議」
情報発信	情報発信	▶文化のまちづくりセミナー 13 弾 「ゆるくつながる、コミュニティの作り方」 （一社）かかみがはら暮らし委員会委員長オゼキカナコ ▶ゆめプラ通信発行活動　▶ゆめプラブログ ▶広報物制作事業　▶ゆめプラス

■2022/2 月 ロシア、ウクライナ侵略開始

■2022/3 月 プロ野球 3 年ぶりに観客の人数制限なし開幕

2022 年度

コハーン・イシュトヴァーン　アレッサンドロ・ペヴェラリ



人形劇団クラルテ「女殺油地獄」



アルファ劇場「快傑ゾロ」



ラストラーダカンパニー「らふぃゆ　れふぃゆ」



メガネニカナウ「テレグラキ」



ゆめホタル ® 調光体験





学校アウトリーチ／田中靖人　白石光隆



ゴム銃製作教室＆競技会



サイエンスレクチャー



アートレクチャー



スマホ / タブレットでつくるコマ撮りアニメ

2022年度の主な出来事

■ 7 月 安倍晋三元首相、銃撃され死亡

■ 9 月 エリザベス女王死去、英君主として最長の 70 年在位

現代アートの鑑賞「なげる、あてる、ひろがる」





星プロジェクト



ベイビーシアター「まるまる」

レゴロボット製作教室





モデルロケット打ち上げ大会



話し方講座

事業一覧

鑑賞事業	音　楽	▶ゆめプラサロンコンサート 2022（年 5 回実施） ○田中靖人（サクソフォン）、白石光隆（ピアノ） ○The EROS＜後藤浩二（ピアノ）、加藤雅史（ベース） 江藤良人（ドラム）＞ ○ハンブルクトリオ＜塩貝みつる（ヴァイオリン） アンドレアス・グリュンコルン（チェロ） エバーハルト・ハーゼンフラッツ（ピアノ）＞/ ドイツ ○コハーン・イシュトヴァーン（クラリネット） アレッサンドロ・ベヴェラリ（クラリネット） 浜野与志男（ピアノ） ○岡本誠司（ヴァイオリン）、髙木竜馬（ピアノ）
	演　劇	▶人形劇団クラルテ「女殺油地獄」 ▶メガネニカナウ Presents「ほぼ永遠の稽古場」「テレグラキ」
	こども向け	▶学校アウトリーチ 田中靖人（サクソフォン）、白石光隆（ピアノ） 「燦やかな音のプリズム」 ▶ラストラーダカンパニー「らふぃゆ　れふぃゆ」
	その他	▶ゆめプラ ONE コイン映画会 「オーケストラ！」
	共催･協力事業	▶JAPAN LIVE YELL project in CHUBU ベイビーシアター「まるまる」 ▶アルファ劇場「快傑ゾロ」/ チェコ
芸術と科学のハーモニー事業	ゆめホタル®	▶ゆめホタル®　アウトリーチ活動
	映像メディア	▶スマホ / タブレットでつくるコマ撮りアニメ ▶アフレコ体験講座
	ロボット	▶レゴロボット製作教室（初級・中級・上級）
	天文･宇宙	▶モデルロケット製作教室＆打ち上げ大会 ▶星プロジェクト「天体望遠鏡製作教室」「ゆめプラ星空観察会」 ▶コズミックカレッジ（キッズ・ファンダメンタル）
	ものづくり･体験	▶ゴム銃製作教室＆競技会
	レクチャー	▶石膏デッサン体験講座、作品展示会 ▶アートレクチャー　橋 寛憲 針金アートワークショップ 「やわらか針金が生き物に変身〜動物モビールや針金昆虫を作ろう！」展示会「はりがねのいきものたち」 ▶「ガムテープで君だけのダンボールコスチュームを作ろう !! with 魔界帝王デスカイザー」 ▶話し方講座〜声・滑舌編〜、〜プレゼン編〜 ▶現代アートの鑑賞　スイッチ『PLAY 2022』 「なげる、あてる、ひろがる」「まわる、うつる、ひろがる」 ▶サイエンスレクチャー（一社）東海ドローン協会 「はじめてのドローン教室☆体験操縦をしてみよう」 ▶地元企業技術者との連携事業サイエンストーク (株)ニートレックス ダイヤモンドの科学「知ってるかな？ダイヤモンドの世界」、日本ルーブリゾール(株) 潤滑油添加剤の科学「何に役立つ？摩擦と潤滑の大発見」
情報発信	情報発信	▶文化のまちづくりセミナー 14 弾 ※2023 年度に延期 ▶ゆめプラ通信発行活動　▶ゆめプラブログ ▶広報物制作事業　▶ゆめプラス ▶オンライン配信事業

■10 月 32 年ぶり円安、1 ドル＝150 円突破

■11 月 サッカーW杯カタール大会で 2 大会連続となる 16 強入りを果たした

2023 年度

オーケストラ・アンサンブル金沢



山崎まさよし



人形劇団ひとみ座「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」



上江隼人



髙木竜馬



古部賢一



フリスペル with イェスペル



まつプロ「父と暮せば」



学校アウトリーチ／礒絵里子　中川賢一





現代アートの鑑賞
「Immersive Shadows 2」

2023年度の主な出来事

■4月 野球・WBC、日本が14年ぶり優勝
■5月 新型コロナが「5類感染症」へ移行


さくら　葉衛陽


サイエンスレクチャー／田中康平


気になるドローン


コズミックチャレンジ


サイエンストーク「だしの科学」


サイエンストーク「ロケットの科学」

事業一覧

鑑賞事業	音　楽	▶ゆめプラサロンコンサート 2023（年 5 回実施） ○さくら（中国琵琶）、葉衛陽（中国琵琶・中阮） ○西澤安澄（ピアノ） ○礒絵里子（ヴァイオリン）、中川賢一（ピアノ） ○上江隼人（バリトン）、吉岡佑弥（ピアノ） ○古部賢一（オーボエ）、兼重稔宏（ピアノ） ▶山崎まさよし Premium Live in TAKETOYO ▶YAMATO String Quartet ▶フリスペル with イェスペル / スウェーデン
	演　劇	▶まつプロ公演「父と暮せば」
	こども向け	▶学校アウトリーチ 礒絵里子（ヴァイオリン）、、中川賢一（ピアノ） 「しなやかに駆けめぐる〜歌うヴァイオリン〜」 ▶人形劇 団ひとみ座「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」
	共催･協力事業	▶イープラス presents 髙木竜馬「ピアノの森」ピアノコンサート 2023 ▶オーケストラ・アンサンブル金沢 武豊公演 〜オーケストラと心に響くひとときを〜
芸術と科学のハーモニー事業	ゆめホタル®	▶ゆめホタル®　アウトリーチ活動
	映像メディア	▶スマホ / タブレットでつくるコマ撮りアニメ ▶アフレコ体験講座
	ロボット	▶レゴロボット製作教室（初級・中級・上級・オトナ）
	天文･宇宙	▶モデルロケット製作教室＆打ち上げ大会 ▶星プロジェクト「天体望遠鏡製作教室」「ゆめプラ星空観察会」 ▶水ロケット製作教室（親子ミニペンシル水ロケット・ミニパラシュートミニロケット） ▶コズミックチャレンジ（キッズ・ファンダメンタル）
	ものづくり･体験	▶「ガムテープで君だけのダンボールコスチュームを作ろう !! with 魔界帝王デスカイザー」 ▶ゴム銃製作教室＆競技会
	レクチャー	▶石膏デッサン体験講座、作品展示会 ▶あなたにも操縦できる　気になるドローン 「はじめてのドローン教室☆体験操縦をしてみよう」 ▶話し方講座〜声・滑舌編〜、〜プレゼン編〜 ▶現代アートの鑑賞 『藤本直明展 Immersive Shadows 2』 「Immersive Shadows 2」「黒い魚たち」 ▶サイエンスレクチャー　田中康平 「恐竜の世界へようこそ　恐竜たちのナゾを解き明かそう」 ▶地元企業技術者との連携事業 サイエンストーク 日油(株）ロケットの科学「目指せ　ロケット博士！」 ユタカフーズ(株）だしの科学「オリジナルカップ麺をつくろう！」
情報発信	情報発信	▶文化のまちづくりセミナー 14 弾　「地域通貨がつくりだす お金に頼らない豊かさ〜お互いさまのネットワーク〜」 藤野地域通貨よろづ屋　池辺潤一 ▶ゆめプラ通信発行活動　▶ゆめプラブログ ▶広報物制作事業　▶ゆめプラス ▶オンライン配信事業

■10 月 将棋・藤井聡太竜王が史上初の八冠独占達成

■2024/1 月　能登半島地震。石川・能登で震度 7、津波被害

2024 年度

米国空軍太平洋音楽隊
ファイナル・アプローチ



テアトロ･デ･オカシオン「アナのはじめての冒険」



石上真由子



葵トリオ





ゆめプラっとフェス前夜祭



長哲也



山中惇史



コズミックチャレンジ
（蒲郡市生命の海科学館）

学校アウトリーチ／宮本妥子　島田菜摘







現代アートの鑑賞
「Lotus －ロータスー」
「LOST #9 remix」

2024年度の主な出来事

■ 7 月 日本銀行、20 年ぶりに新紙幣発行

■ 8 月 パリ五輪、日本のメダル総数 45 個（金 20、銀 12、銅 13）獲得。海外開催過去最多


オペラシアターこんにゃく座
オペラ「森は生きている」


サイエンストーク「変化の科学」


星プロジェクト


サイエンスレクチャー
／黒川伊保子


文化のまちづくりセミナー
／平田オリザ


サイエンストーク
「骨組みの科学」

事業一覧

鑑賞事業

音　楽

▶ゆめプラサロンコンサート 2024（年 6 回実施）
○石上真由子（ヴァイオリン）、北端祥人（ピアノ）
○宮本妥子（マリンバ・打楽器）、網谷正美（狂言）
島田菜摘（マリンバ・打楽器）
○長哲也（ファゴット）、永原緑（ピアノ）
○山中惇史（ピアノ、作曲・編曲）
○新倉瞳（チェロ）、渡辺庸介（ドラム）
○葵トリオ＜小川響子（ヴァイオリン）、伊東裕（チェロ）
秋元孝介（ピアノ）＞
▶宇崎竜童 弾き語り LIVE 2024 JUST GUITAR JUST VOCAL
▶米国空軍太平洋音楽隊　ファイナル・アプローチ / アメリカ

こども向け

▶学校アウトリーチ
宮本妥子（マリンバ・打楽器）、島田菜摘（マリンバ・打楽器）
「わくわく、どきどき 感じるリズム！マリンバとパーカッション」
▶テアトロ・デ・オカシオン　アナのはじめての冒険 / チリ

その他

▶ゆめプラっとフェス
▶ゆめプラ　20 年の歴史

共催･協力事業

▶DRUM TAO－ドラム タオ－ 武豊公演
▶オペラシアターこんにゃく座 オペラ「森は生きている」

芸術と科学のハーモニー事業

ゆめホタル®

▶ゆめホタル®　アウトリーチ活動

映像メディア

▶スマホ / タブレットでつくるコマ撮りアニメ
▶アフレコ体験講座

ロボット

▶レゴロボット製作教室（初級・中級・上級・オトナ）

天文･宇宙

▶モデルロケット製作教室＆打ち上げ大会
▶星プロジェクト「ゆめプラ星空観察会」
▶コズミックチャレンジ（キッズ・ファンダメンタル）

ものづくり･体験

▶「ガムテープで君だけのダンボールコスチュームを作ろう !!
with 魔界帝王デスカイザー」
▶ゴム銃製作教室＆競技会

レクチャー

▶石膏デッサン体験講座、作品展示会
▶アートレクチャー　「竹とうろうを作ろう」
▶話し方講座～声・滑舌編～、～プレゼン編～
▶現代アートの鑑賞　『ゆめプラの「旅」と「ものがたり」』
クワクボリョウタ「LOST #9 remix」
浅野耕平「Drop －ドロップ －」「Lotus －ロータスー」
▶サイエンスレクチャー　黒川伊保子
「人工知能は天使か悪魔か　人類と AI の近未来」
▶地元企業技術者との連携事業 サイエンストーク
日本化学工業(株)　変化の科学「化学反応のおもしろ実験！
色とりどりのカプセルを作ろう！」
岩部建設(株)　骨組みの科学「壁や柱を大解剖！
～鉄筋とコンクリートの世界をのぞいてみよう～」

情報発信

情報発信

▶文化のまちづくりセミナー第 15 弾　平田オリザ
「文化でつながる社会」
▶文化のまちづくりセミナー関連企画 ゆめプラ ONE コイン映画会
「走れ！走れ走れメロス」「メロスたち」
▶ゆめプラ通信発行活動　▶ゆめプラブログ
▶広報物制作事業　▶ゆめプラス
▶オンライン配信事業

■9 月　野球・大谷翔平選手大リーグ史上初めて「50-50」（50HR・50 盗塁）を達成
■10 月 日本原水爆被害者団体協議会（被団協）にノーベル平和賞授与

保育園・学校アウトリーチ

ホールに来てくれるのを待つだけではなく、こちらから出向いて芸術を届けるために、アウトリーチ活動を行っています。中でも、学校アウトリーチは、NPO たけとよが力を入れている活動です。武豊の全てのこどもたちが、素晴らしい芸術に間近で触れることのできるこの活動を、これからも大切にしていきたいと思います。

2016 年度　小学校 4 校

小 岩田卓也（尺八）＆MAKI（ピアノ）
尺八＆ピアノ デュオ・コンサート

2017 年度　小学校 4 校　保育園 10 園

小 ratio（レシオ）（パントマイム、マジック、ジャグリング）
パフォーマンス体験ワークショップ
保 人形劇団プーク
「ふしぎな箱」「ハリネズミと金貨」

2018 年度　小学校 4 校　中学校 2 校

小 カルテット・スピリタス（サクソフォン四重奏）
「That's エンターテイナー！ II」
中 兵藤友彦　レッスン「演劇表現」

2019 年度　小学校 4 校　保育園 2 園

小 中川賢一（ピアノ）
保「無限のイマジネーション〜時空を超えて〜」

2020 年度　※2021 年度に延期

小 かとうかなこ（クロマチック・アコーディオン）
田島隆（タンバリン）「愉快　軽快　音楽のびっくり箱〜思わずカラダが動き出す〜」

2021 年度　小学校 4 校

小 かとうかなこ（クロマチック・アコーディオン）
田島隆（タンバリン）「愉快　軽快　音楽のびっくり箱〜思わずカラダが動き出す〜」
※2 学年実施

2022 年度　小学校 4 校

小 田中靖人（サクソフォン）、白石光隆（ピアノ）
「燦やかな音のプリズム」

2023 年度　小学校 4 校

小 礒絵里子（ヴァイオリン）、中川賢一（ピアノ）
「しなやかに駆けめぐる〜歌うヴァイオリン〜」

2024 年度　小学校 4 校

小 宮本妥子（マリンバ・打楽器）
島田菜摘（マリンバ・打楽器）
「わくわく、どきどき 感じるリズム！マリンバとパーカッション」


岩田卓也＆MAKI




人形劇団プーク


中川賢一


かとうかなこ　田島隆




礒絵里子　中川賢一


田中靖人　白石光隆


宮本妥子　島田菜摘

こども向け企画

武豊町の文化創造プランは、第一次～第三次を通し、基本方針の一つとして、ゆめたろうプラザを「明日を担うこども、若者を豊かな文化の中で育てる場」と位置づけてきました。NPOたけとよでは、開館初年度より一貫して、音楽、演劇、舞踊等、様々な分野で、質の高いこども向け企画を提供してきました。

2016 年度

○コープス「ひつじ」「キャンプしましょう、おひめさま」/ カナダ

2017 年度

○コープス「ひつじ」/ カナダ

2018 年度

○シアタートレ「ぐっすりおやすみ」/ スウェーデン

2019 年度

○ズーラシアンブラス「音楽の絵本　アミーゴ」
○劇団エル・パティオ
「A MANO（ア・マノ）－手によって－」/ スペイン

2020 年度

○コンドルズの「遊育計画」※2021 年度に延期⇒中止

2021 年度

○クロワッサンサーカスショー
○クロワッサンサーカス
～綱わたり＆ジャグリング体験

2022 年度

○ラストラーダカンパニー「らふぃゆ　れふぃゆ」
○JAPAN LIVE YELL project in CHUBU
ベイビーシアター「まるまる」

2023 年度

○人形劇団ひとみ座「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」

2024 年度

○テアトロ・デ・オカシオン
「アナのはじめての冒険」/ チリ

シアタートレ「ぐっすりおやすみ」





劇団エル・パティオ「A MANO」



ズーラシアンブラス「音楽の絵本」



クロワッサンサーカスショー



クロワッサンサーカス「綱渡り＆ジャグリング体験」



ラストラーダカンパニー「らふぃゆ れふぃゆ」





テアトロ・デ・オカシオン「アナのはじめての冒険」



人形劇団ひとみ座「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」



サイエンストーク（地元企業技術者との連携事業）

武豊町で活動する企業・事業所の内容や研究を、それぞれの関係者にサイエンスの視点から話してもらい、サイエンスが身近でどのように役立っているかを楽しく知ってもらうとともに、地元企業への理解を深めてもらうことを目的に、年２回の講座を実施しています。

2016 年度

○東海カーボン株式会社
　炭の科学「カーボンブラックのブラックパワー」
○JFE スチール株式会社　鉄の科学「鉄の不思議」

2017 年度

○合名会社中定商店
　発酵の科学「みそたまを作ってみそしるを味わおう！」
○株式会社ニートレックス
　ダイヤモンドの科学「知ってるかな？ダイヤモンドの世界」

2018 年度

○株式会社エイゼン
　特別版「追跡！資源リサイクル現場～」

2019 年度

○日油株式会社
　ゲル化の科学「いつもと違うオリジナルスライムを作ろう！」
○ユタカフーズ株式会社
　だしの科学「オリジナルカップ麺を作ろう！」

2020 年度

○日本化学工業株式会社
　変化の科学「色とりどりのカプセルを作ろう！」
○岩部建設株式会社
　道路の科学「道をつくる道のり物語」

2021 年度

○東海カーボン株式会社
　炭の科学「カーボンブラックのブラックパワー」
○JFE スチール株式会社　鉄の科学「鉄の不思議」

2022 年度

○株式会社ニートレックス
　ダイヤモンドの科学「知ってるかな？ダイヤモンドの世界」
○日本ルーブリゾール株式会社
　潤滑油添加剤の科学「何に役立つ？摩擦と潤滑の大発見」

2023 年度

○日油株式会社　ロケットの科学「目指せロケット博士！」
○ユタカフーズ株式会社
　だしの科学「オリジナルカップ麺を作ろう！」

2024 年度

○日本化学工業株式会社
　変化の科学「色とりどりのカプセルを作ろう！」
○岩部建設株式会社　骨組みの科学
　「壁や柱を大解剖！鉄筋とコンクリートの世界をのぞいてみよう」


鉄の不思議


みそたまを作ってみそしるを味わおう！


追跡！資源リサイクル現場


オリジナルカップ麺を作ろう！


いつもと違うオリジナルスライムを作ろう！


カーボンブラックのブラックパワー


道をつくる道のり物語


色とりどりのカプセルを作ろう！


何に役立つ？摩擦と潤滑の大発見


知ってるかな？ダイヤモンドの世界


目指せロケット博士！


壁や柱を大解剖！

サイエンスレクチャー

サイエンスに関わる内容を、専門家が最新の研究成果や身近な科学の話題などをまじえて、
分かりやすく解説し、参加者が楽しく学べる講座です。年１回実施しています。

2016 年度

○渡部潤一
「宇宙人はいる？いない？－宇宙生命の存在に迫る－」



2017 年度

○櫻井進
「わくわく数の世界の大冒険－世界は数学でできている。」



2018 年度

○油井亀美也
「教えて油井さん！～宇宙から見た私たちの地球～」
○井上毅
「ブラック星博士 東海征服計画 in たけとよ」





2019 年度

○中垣哲也
「くまが命をつなぐアラスカでオーロラを見てみよう」
「宙いっぱいのオーロラに包まれてみませんか？」





2020 年度

○佐々木洋
「身近な生き物が教えてくれること」

2021 年度

○渡辺佑基
「カメラをつけて大追跡！海の動物たちが見る景色
～あっと驚く不思議な自然界へようこそ～」





2022 年度

○（一社）東海ドローン協会
「はじめてのドローン教室☆操縦体験をしてみよう」

2023 年度

○田中康平
「恐竜の世界へようこそ　恐竜たちのナゾを解き明かそう」





2024 年度

○黒川伊保子
「人工知能は天使か悪魔か　人類と AI の近未来」

現代アートの鑑賞

こどもにも楽しめる現代アートを紹介することで、鑑賞者の感性を豊かにすることを目的に年１回実施しています。世界で活躍するアーティストを含め、多くのアーティストを招いた作品展となり、こどもたちも含め毎年楽しみにしてくれている人も多い事業です。

2016 年度

○愛知工業大学 情報科学部 水野慎士研究室
『映像と音との新しいインタラクション』
「Magic Shadow」「不思議なスケッチブック」「CG の池」


Magic Shadow


うごき→あそび
「おスイッチ！」

2017 年度

○IAMAS メディアサイト研究会『うごき→あそび』
「trans-floor! -play ground!」「おスイッチ !」

2018 年度

○大石暁規 + 赤松正行 + ARART プロジェクト
『スマイル・ワールド / 未確認浮遊物体』展
「スマイル・ワールド」「未確認浮遊物体」


スマイル・ワールド / 未確認浮遊物体展


Mush Marsh

2019 年度

○中村元道
『プロジェクションマッピングとモンスターアート』
「Mush Marsh」「中村元道プロジェクションマッピングの軌跡」「みんなで色ぬり！カラフルモンスター」


スプラッシュディスプレイ

2020 年度

○的場やすし　※2021 年度に延期

2021 年度

○的場やすし
『砂が水になる？ ビーズが宙を舞う？ ～流動床インターフェースとスプラッシュディスプレイの世界』
「流動床インターフェース」「スプラッシュディスプレイ」
※スプラッシュディスプレイはのちに HAJIKERU に改名


ImmersiveShadows 2


PLAY 2022
「なげる、あてる、ひろがる」

2022 年度

○スイッチ『PLAY 2022』
「なげる、あてる、ひろがる」「まわる、うつる、ひろがる」

2023 年度

○藤本直明『藤本直明展 Immersive Shadows 2』
「Immersive Shadows 2」「黒い魚たち」

2024 年度

○クワクボリョウタ、浅野耕平
『ゆめプラの「旅」と「ものがたり」』
クワクボリョウタ「LOST #9 remix」
浅野耕平「Drop ードロップ ー」
「Lotus ーロータスー」


Drop－ドロップ－


LOST #9 remix

アートレクチャー

小学生以上を対象に、造形活動の面白さを分かりやすく体験してもらえる講座を実施しています。

2016 年度

○デスカイザー＆Kuro
「デスカイザーと君だけのダンボールモンスターを作ろう」

2017 年度

○デスカイザー＆Kuro
「ガムテープで君だけのダンボールコスチュームを作ろう」

2018 年度

○デスカイザー＆Kuro
「ガムテープで君だけのダンボールコスチュームを作ろう」

2019 年度

○デスカイザー＆Kuro
「ガムテープで君だけのダンボールコスチュームを作ろう」









2020 年度

○関口光太郎
「新聞紙で彫刻をつくろう～秘密兵器はガムテープ～」

2021 年度

○チャッピー岡本「クリスマスカブリモノ変身塾」

2022 年度

○橋 寛憲 針金アートワークショップ
「やわらか針金が生き物に変身～動物モビールや針金昆虫を作ろう！」、展示会「はりがねのいきものたち」

2024 年度

○戸田典昭「竹とうろうを作ろう」









文化のまちづくりセミナー

文化の薫りたかいまちを、地域の人たちと創り上げていこうと考え、様々な取り組みをしている方を招いて共に学び合うセミナーです。

2016 年度

○林健次郎「文化事業から文化政策へ～幸福度ナンバーワンをどうセールスするか～」

2017 年度

○特別プログラム
Ⅰ榎本広樹「現場から考える『文化の薫る町』って何のこと？」
Ⅱ蓮見孝「アートとまちづくり」
Ⅲ鬼澤慎人「未来を創るリーダーシップ」
Ⅳ中本正樹「新時代の地域を創造する人財の育て方～小美玉市まるごと文化ホール計画」

2019 年度

○西村浩　※2020 年度に延期

2020 年度

○西村浩「西村浩の公共空間の使い方が変われば、ひょっとしたらまちは変わるんじゃないかと思っている今日この頃のお話」

2021 年度

○オゼキカナコ「ゆるくつながる、コミュニティの作り方」

2022 年度

○池辺潤一　※2023 年度に延期

2023 年度

○池辺潤一「地域通貨がつくりだす お金に頼らない豊かさ～お互いさまのネットワーク～」

2024 年度

○平田オリザ「文化でつながる社会」







ゆめたろうプラザ開館20周年記念事業

NPOたけとよ設立20周年（2023年）の意義と、町民会館開館20周年（2024年）と町制70周年を記念して地域の方々に楽しんでもらえる事業を企画・運営しました。

アートレクチャー 戸田典昭「竹とうろうを作ろう」
2024/2/25、3/29、3/30、3/31

大型の工作機械を使って竹に穴を開け、竹とうろうを作りました。10種類ほどの型紙の中から好きなパターンを選び、思い思いのデザインに挑戦。完成した竹とうろうは、「ゆめプラっとフェス」の前夜祭で、光の散歩道をやさしく彩りました。


はじめに機械について説明を受けます


ねらいを定めて穴を開けるよ


笑ってるみたいだね


人生そのものを味わうような、豊かな時間。

宇崎竜童弾き語り LIVE2024 JUST GUITAR JUST VOCAL
2024/6/30

宇崎さんの活動50周年という記念すべき年に、再び武豊に来ていただきました。8年ぶりに輝きホールのステージに立つ宇崎さんが、オープニングに選んだのは、力強いギターで始まる「港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ」。
この曲はダウン・タウン・ブギウギ・バンド世代の心に深く響き、会場は一曲目から最高に盛り上がりました。客席には60代、70代の方も多く、青春時代を思い出すような懐かしい名曲の数々に、みんな酔いしれるように聴き入っていました。

サイエンスレクチャー　黒川伊保子講演会「人工知能は天使か悪魔か～人類とAIの近未来～」
2024/7/20

講演会終了後、年齢・性別に関係なくたくさんの人が、明るい顔で生き生きと軽やかな足取りで帰って行きました。何かに目覚めたように目を輝かせた若者や、「なるほど」と納得した雰囲気の大人たち、AIにまごつくような世代の方も、自分のアップデートに挑戦しようと思われたのではないかと感じました。
AIにいい仕事をさせるには、どのような発想でどんな質問をするのか、日ごろから『対話力』と『問題に気づく力』を意識して生活すること、私たちがより人間らしく成長していくことが、AIを賢く使うために大切になる、という熱い希望に満ちた講演会でした。


テンポの良いお話でみんな夢中に


さまざまな事例の紹介

文化のまちづくりセミナー第15弾 平田オリザ講演会「文化でつながる社会」
2025 2/8

日本を代表する劇作家・演出家であり、現代演劇を牽引する存在である平田オリザさんの講演を聞きました。文化が私たちの生活や社会をいかに豊かにし、異なる立場や価値観を超えて人々を結びつけるかについてのお話でした。文化や演劇の視点から、社会をつなぐ力について、改めて考えるよい機会となりました。

現代アートの鑑賞事業

クワクボリョウタ、浅野耕平「ゆめプラの『旅』と『ものがたり』」

2024/8/24 ～ 9/8



LOST #9 remix／クワクボリョウタ



Drop －ドロップ－／浅野耕平



クワクボリョウタ　ギャラリートーク



Lotus －ロータス－／浅野耕平



浅野耕平　ギャラリートーク

ゆめたろうプラザ毎夏恒例の現代アートを楽しむ展覧会では、現代アート作家のクワクボリョウタさんと浅野耕平さんを迎え、「旅」と「ものがたり」をテーマにした鑑賞事業を開催しました。
光や影、映像を用いた作品を通して、来場者は想像力を刺激され、日常の中に潜む物語を再発見する体験となりました。
アートが地域と人をつなぐ力を改めて感じる機会となりました。

ゆめプラ20年の歴史

2024/4/2～2025/3/29

◆20年間のチラシ、写真の展示と館内装飾

◆「20歳のゆめプラへ」メッセージ募集とメッセージツリーの展示

20年という長い歳月の中で、本当にたくさんのできごとがありました。そこから多くの思い出が生まれ、これからの10年へと続く道を照らす希望が感じられました。これまでも、そしてこれからも、地域に寄り添う場所であり続けたいと思います。



ゆめプラの歴史ともいえる事業一覧



心もはずむウィンドウデコレーション



圧巻だった過去の公演ポスター



ロータリーにも「20th」の文字





メッセージツリーにたくさんの実がつきました

YOU+ME

ゆめプラっとフェス

20年の感謝を込めて！… 今までの事業を合体させて20周年大感謝祭開催！



バックステージツアー

音響室や舞台袖のサインなどを
お話を聞きながら案内してもらったよ。
ホールって面白いね。





光のさんぽ道









たくさんのゆめホタル® と
みんなで作った竹とうろう。
光に合わせたシンセサイザーの
幻想的な音楽も楽しんだよ。



ゆめホタル®光のシンフォニー with 歳田彩雅（としだみか）

2024 5/4（土） ゆめプラっとフェス 前夜祭

- ◆バックステージツアー
- ◆ゆめホタル® 光のシンフォニー with 歳田彩雅
- ◆ゆめホタル® 調光体験
- ◆光のさんぽ道

前夜祭の光のアートはとても幻想的で、シンセサイザーの音楽と美しく調和していました。久しぶりの大規模なゆめホタル®の上演に会場は温かな空気に包まれていました。光の散歩道では、子どもたちが走り回りながら楽しそうに過ごしていて、その様子がさらに場を和ませていました。終了時刻を迎えても、名残惜しそうに光を見つめ続ける方がたくさんいました。

2024 5/5（日）

雲ひとつない青空の下で開催された「ゆめプラっとフェス」には、のべ約 3,300 名の地域の皆さんが訪れ、施設内外でイベントを楽しみました。企画や準備段階から本番まで、総勢87名のボランティアスタッフの尽力により、大成功のイベントとなりました。







- ◆芝生フェス2024
- ◆ワクワクものづくりコーナー
- ◆いろんな体験コーナー
- ◆チャレンジ！ダンボール迷路
- ◆ドキドキ♡ふしぎ錯覚体験コーナー
- ◆おいしい たべもの屋さん

















★芝生フェス2024★

芝生フェスでは地域の音楽やダンスのサークル、中学校の体操部などが日頃の練習の成果を発表したり、モルックやハンモックなど誰でも気軽に楽しめるイベントが用意されました。



おいしい たべもの屋さん

★ワクワクものづくりコーナー★

食育を推進するけいや先生のお茶碗作りや、ハンダごてを使ってＬＥＤがピカッと光るキーホルダーを作るコーナーや、紫外線に反応して色が代わるビーズを使ったストラップ、はやぶさ２のミニ模型を作ってお菓子釣り…。
子どもも大人もわくわくするようなものづくりができるコーナーを設けました。

ゆめプラ陶苑

講師：チームけいや先生









フォトスポット（ISSキューポラ）



LEDガンとネコの電子工作

講師：加藤良将先生（名古屋芸術大学）
鳥居隆司先生（椙山女学園大学）







クイズラリー



チケット発売＆各種申込み窓口

はや2タッチダウンでお菓子をゲット



ゆめっちぃのグリーティングタイム



★いろんな体験コーナー★

ハーモニー事業で人気の講座を体験できるコーナーや、水の上を走れる!?「ダイラタンシー」の原理を使ったプチ・忍者体験コーナーが設けられました。





UVビーズで見えない光を見よう

ゴム銃射撃体験



映像ディレクター体験







プチ・アフレコ体験

講師：まつもとちさよ（TTY）





プチ・忍者体験





★ドキドキ♡ふしぎ錯覚体験コーナー★

協力：小鷹研究室（名古屋市立大学）

触られていないのに触られてる!?
自分が感じたり見えたりすることが実際の状態と違うように感じる不思議な体験や、頭に装着するゴーグル型のディスプレイを使って、まるでその場にいるような体験ができるバーチャルリアリティ体験コーナーが設けられました。







★チャレンジ！ダンボール迷路★

練習室いっぱいに迷路ができたよ！
ちびっこたちの大人気コーナーになりました。







「これからプラン2008 – めざせ2018 –」から「これからプラン2018 – めざせ2028 –」へ

私たちは、「これからプラン 2008」を作るときに以下の３つを基本的な考え方としました。

私たちのよろこび　みんなで楽しく、たくさんの人に喜んでもらえる企画を創り出す

・「たくさんの人」とは
　→多様さと人数を示している。インクルージョン（社会包摂）の考え方に基づき，年齢・性別・国籍・障がいの有無等に関わらず様々な人ととらえている。多様な人々とできるだけ多くの文化が繋がることで、互いに認め合い支え合う温かな地域社会をつくることになると考えます。

私たちが果たしたい役割　つなぐ（文化とさまざまなものをつなぐ）

・憲法に定められた文化的で健康な生活の保障
　→文化は人としての暮らしの基盤であり，その文化を多くの人に届けることで，心豊かな生活を送る人が増え，地域の活力と活性化に繋がる。
・働き方改革の底流にあるのは，経済指標から生活指標への転換
　→経済的な豊かさの追求から，人間らしい生活へのシフトである。さらに，人間らしい生活の底流には文化的な体験や経験が不可欠であり，たくさんの人と文化をつなぐ役割を担う活動も同じく不可欠となる。

私たちが目指す地域の姿　市民の力でまちづくり

・ベッドタウン（寝に帰る町）からの脱却
　→全ての人が人間らしく活きる為にそこで暮らす人が互いに力を寄せ合い活動するまち。

そして、今、新たな「これからプラン 2018－めざせ 2028－」を策定するにあたり、上の３つの基本的な考え方を踏襲するとともに、「活動の継続」を重要課題として考えました。私たちのミッションである、地域の方々と文化をつなぐ活動は、生きる喜びや希望を生み出すことにつながると思います。それは、未来に「希望をつなぐ活動」でもあると思います。そこで、私たちは活動の継続を大切な課題と考え、これからも希望をもって取り組んでいきたいと思います。
そのためには、「活動の継続」、「協働の継続」、「地域との連携」の３つがポイントになると考えました。詳細は以下を参照して下さい。

活動の継続

取り組みの意義

○多くの人を文化につなぐ活動は、人々の心を豊かにし、幸福度が高く住みやすい社会を築くことに貢献できる。また、そこで生まれる人と人との出会いやつながりは新しい活動を生み出す力にもなる。

成　果	5 年後	10 年後
内部での継承がすすむ	事業などの研修を行い、ノウハウを勉強することができている **方策１．** NPO たけとよの仕組みと各担当ごとのマニュアルを作り、しっかりと勉強できる機会を作る	会員間の世代を越えて一緒に企画を作っている
楽しく活動できる	一つ一つの事業を行うにあたって活発に意見交換ができている **方策１．** 他地域の取り組みを視察し、自分たちの事業に反映する **方策２．** 担当者会議を活発に行う	事業の展開や構成について活発に意見交換ができている **方策１．** 他地域の取り組みを視察し、自分たちの事業に反映する **方策２．** 事業についての情報交換を活発に行う
新たな会員・スタッフの確保がすすむ	NPOたけとよに興味のある町民が増える **方策１．** NPO たけとよの紹介パンフレットの配布やアンケートを実施する **方策２．** ちょこボラの募集や、NPO たけとよを紹介するイベントを企画する	幅広い年齢の会員が現在（2018）よりも 30% 増えている **方策１．** NPO たけとよの紹介パンフレットの配布やアンケートを実施する **方策２．** ちょこボラの募集や、NPO たけとよを紹介するイベントを企画する
NPO たけとよの事業の認知度が上がる	SNS などの Web 環境を使った情報発信をこまめに行い、情報が目に入るようにする **方策１．** メディア・SNS での情報発信と紹介映像を作る **方策２．** ゆめプラスを充実させる	時代に即した情報発信をこまめに行い、あらゆる人に情報が伝わるようにする **方策１．** 時代に即した情報発信を工夫し、紹介映像を更新する **方策２．** ゆめプラスをはじめ効果的に情報を伝える
資金を確保する	・助成金の申請に努力する ・企業賛助会員が 10 社を超える **方策１．** 助成金の情報を積極的に集める **方策２．** 優良団体としての活動を継続する **方策３．** チラシに賛助会員の企業名を入れる **方策４．** 企業と協賛した企画の冠に企業名を入れる	・助成金の申請に努力する ・企業賛助会員が 10 社を超える **方策１．** 助成金の情報を積極的に集める **方策２．** 優良団体としての活動を継続する **方策３．** 賛助会員の企業名を時代に即した方法で広報する **方策４．** 企業と協賛した企画の冠に企業名を入れる



H3ロケット講演会（主催：文化発信事業実行委員会）／有田誠



サイエンストーク／日本化学工業（株）



文化のまちづくりセミナー／池辺潤一

協働の継続

取り組みの意義

○地域の文化力＊の向上は行政の大きな役割の一つで、その効果的な取り組みには地域住民との協働が有効であり、その継続は地域の文化向上に大きな力となる。

○文化力の向上を目的とした取り組みは、様々な分野や関係者との関わりが不可欠である。縦割りに陥りやすい行政に、総合的で横断的な取り組みが求められるとともに、行政と住民との協働では、両者の話し合いも求められ、行政がより地域に開かれたものへと変革する手助けとなる。

成　果	5年後	10年後
ゆめプラの情報の見える化でNPOたけとよの事業への理解が深まる	役場で日常的にゆめプラの情報に触れることができるようになっている **方策1.** 役場でアウトリーチをする **方策2.** ゆめプラの実績を報告する場を作る **方策3.** 町職員がゆめプラの情報を得やすくする **方策4.** 保育園、小中学校のアウトリーチを継続する	役場で日常的にゆめプラの情報に触れることができるようになっている **方策1.** 町職員がゆめプラの情報を得やすくする **方策2.** 保育園、小中学校のアウトリーチを継続する
行政と地域がまちづくりについて共に考える姿勢が、多様な場面でみられる	・文化創造プラン改定に参画する。 ・武豊町の教育委員会以外の課とも連携事業をおこなっている **方策1.** 継続的なまちづくりセミナーの実施 **方策2.** 行政職員と共に事業を企画する	・文化創造プラン改定に参画する。 ・武豊町の教育委員会以外の課とも連携事業をおこなっている **方策1.** 継続的なまちづくりセミナーの実施 **方策2.** 行政職員と共に事業を企画する

地域との連携の推進

取り組みの意義

○地域との連携を進めることは、住民自身の手で文化力＊の向上に取り組むことに大きく役立つ。また、活動に参加する人が増えることで、地域の活性化が進み、さらに住みよい地域を生み出すことにつながる。

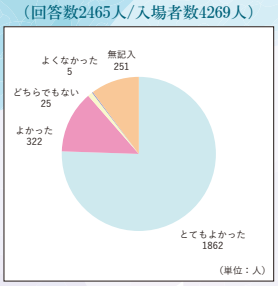
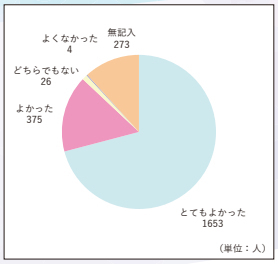
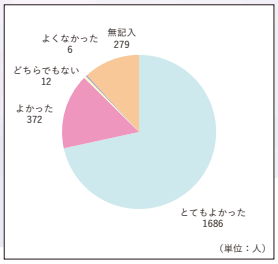
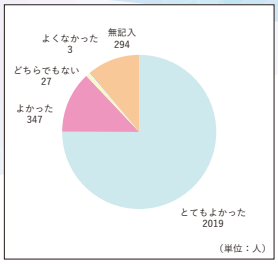
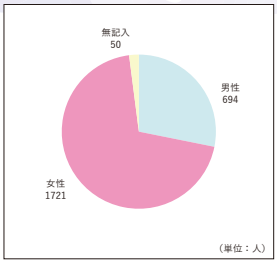
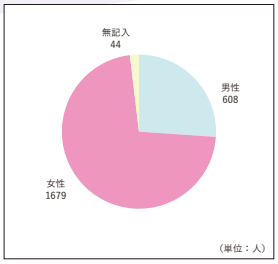
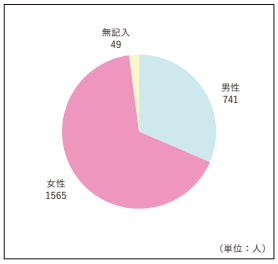
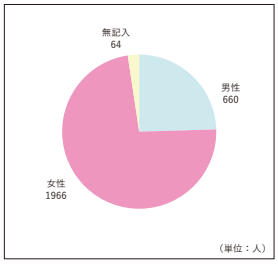
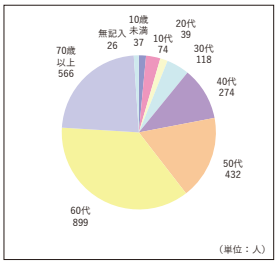
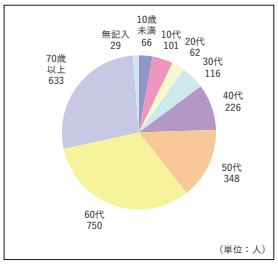
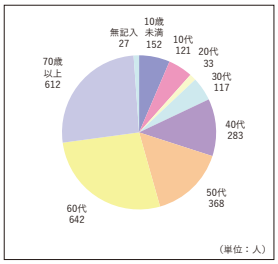
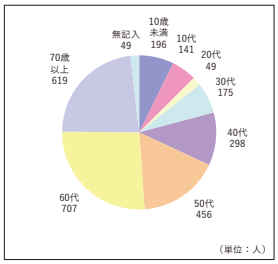
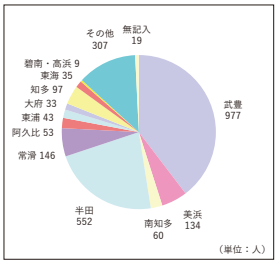
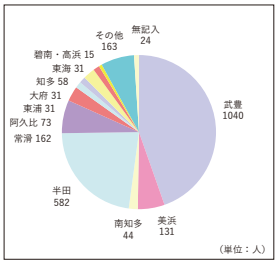
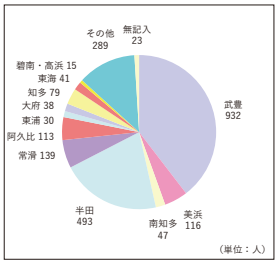
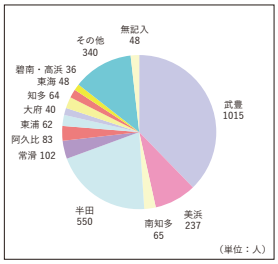
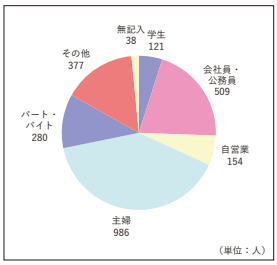
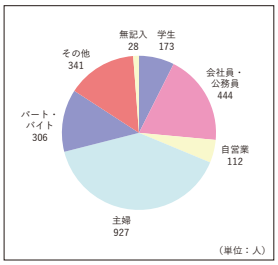
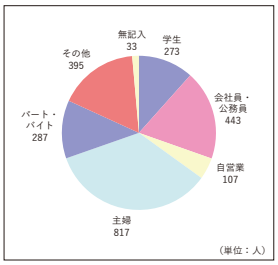
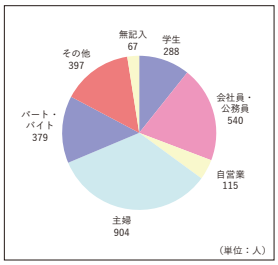
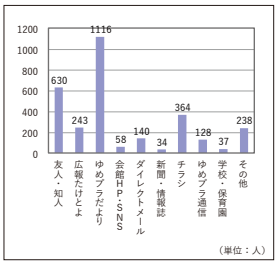
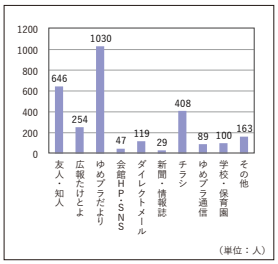
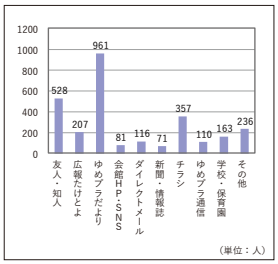
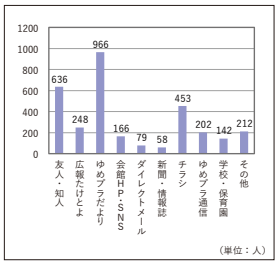
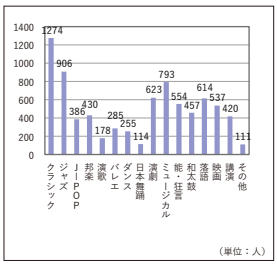
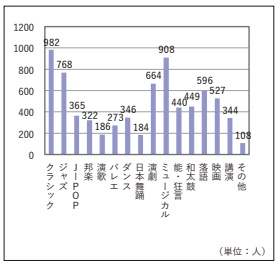
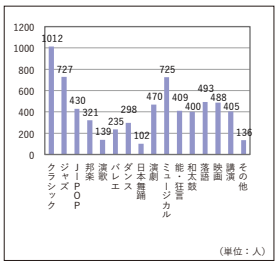
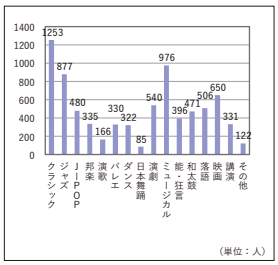
成　果	5年後	10年後
地域の住民が直接事業に関わることができ、ゆめプラをより身近に感じている	・地域の人たちと一緒に企画したり、事業を行っている ・専門家と地域の人が出会える場がある **方策1.** 気軽に参加できるシステム（リレーコンサートやボランティア登録など）で理解を得る **方策2.** 連携事業を行っている **方策3.** 地域のニーズをつかむ（小中高学校アンケート、保護者アンケート、学校の先生アンケート）	・地域の人たちと一緒に企画したり、事業を行っている ・専門家と地域の人が出会える場がある **方策1.** 気軽に参加できるシステム（リレーコンサートやボランティア登録など）で理解を得る **方策2.** 地域のニーズをつかむ（小中高学校アンケート、保護者アンケート、学校の先生アンケート）
企業との連携が深まる	サイエンストークの継続 **方策1.** サイエンストーク参加企業を増やす **方策2.** サイエンストークに参加した企業のPRを考える	サイエンストークの継続 **方策1.** サイエンストーク参加企業を増やす **方策2.** サイエンストークに参加した企業のPRを考える

＊文化力：文化の持つ、人々に元気を与え地域社会を活性化させて、魅力ある社会づくりを推進する力（文化庁ＨＰより）

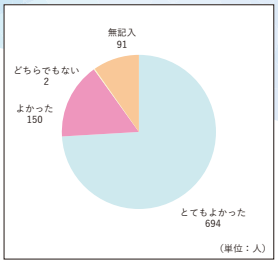
2025/1/5 更新

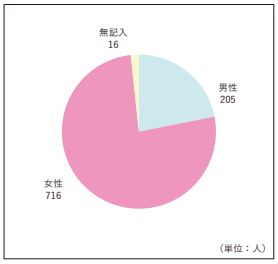
アンケートデータ

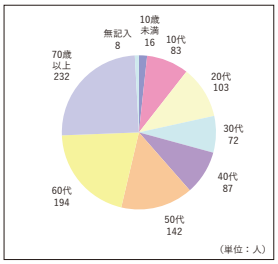
※ 調査対象：NPOたけとよ主催の鑑賞事業や講演会

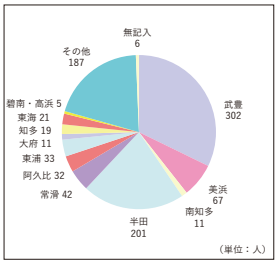
	2016（回答数2465人/入場者数4269人）	2017（回答数2331人/入場者数3794人）	2018（回答数2355人/入場者数3596人）	2019（回答数2690人/入場者数4836人）
感想				
性別				
年齢				
住まい				
職業				
情報源				
希望する公演				

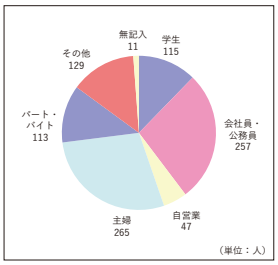
2020
（回答数937人/入場者数1305人）
※コロナの影響あり

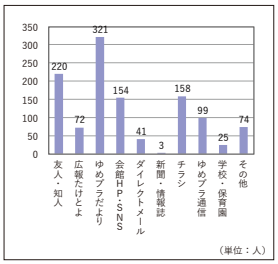


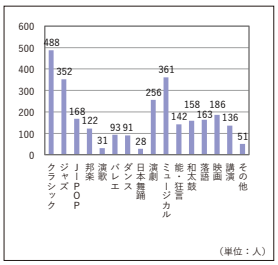




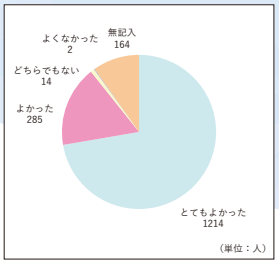


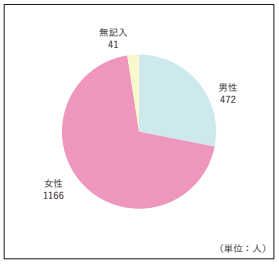


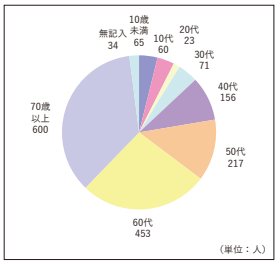


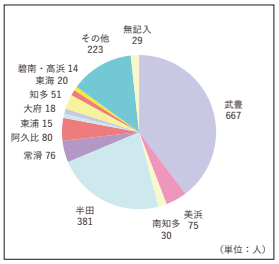


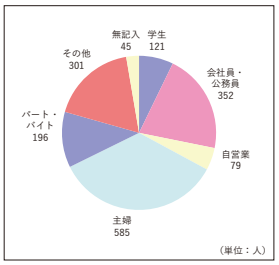
2021
（回答数1679人/入場者数2483人）

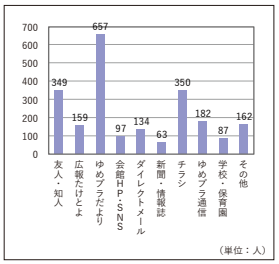


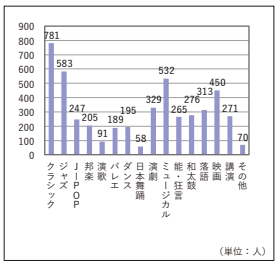




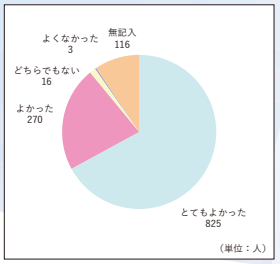


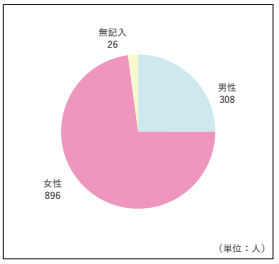


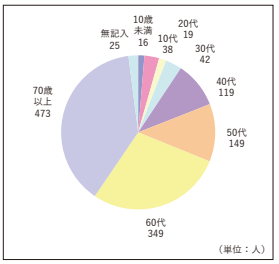


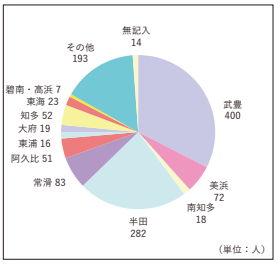


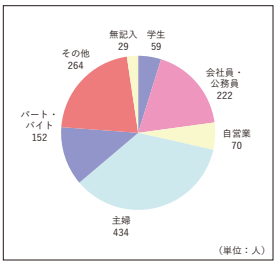
2022
（回答数1230人/入場者数1850人）

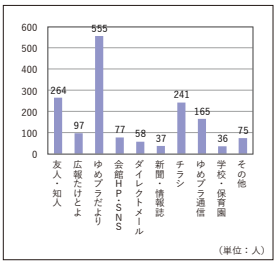


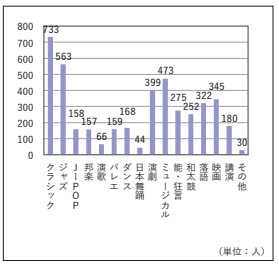




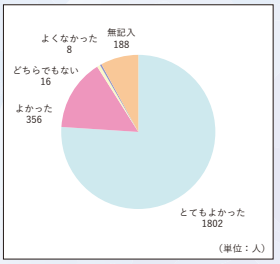


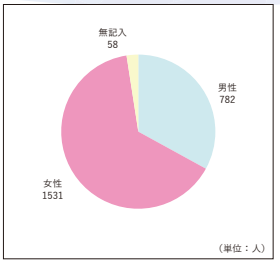


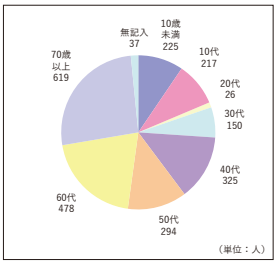


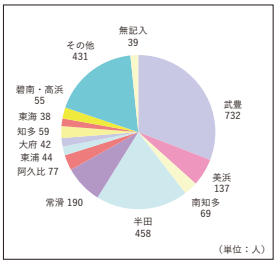


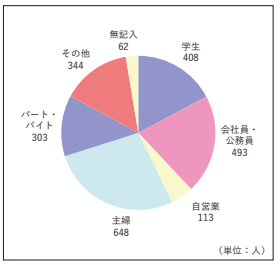
2023
（回答数2318人/入場者数4064人）

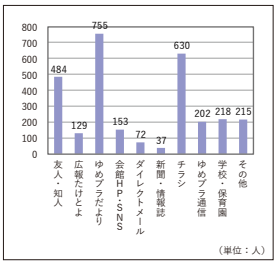


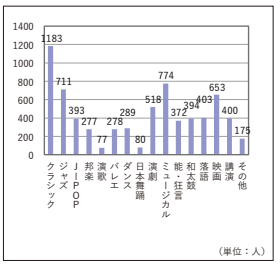




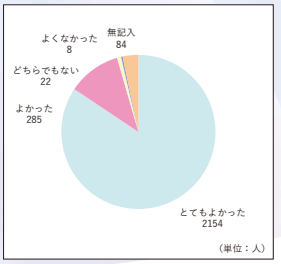


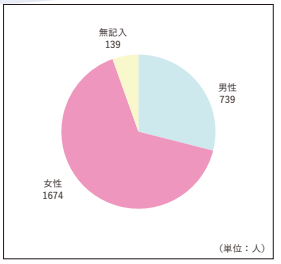


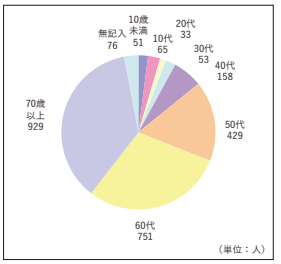


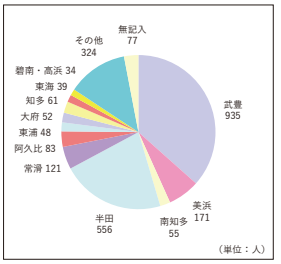


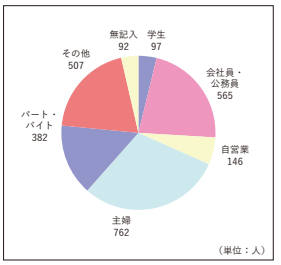
2024
（回答数2553人/入場者数3979人）

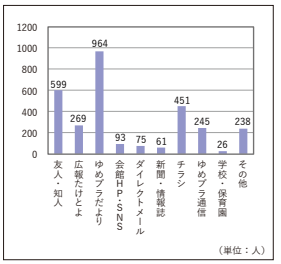


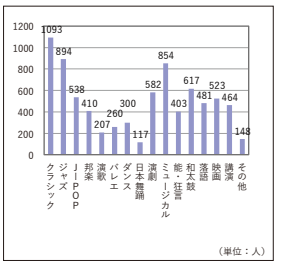












会員コメント

ゆめたろうプラザや NPO の活動を
イメージしたキーワードに
NPO たけとよ会員が想いを込めました

芸術は夢の種
ロマンと魔法のハーモニー
豊かな文化のプレゼント
子どもが笑顔の未来をめざす

げ M.S
芸術と講座で楽しめるゆめたろうプラザ。たくさんの人に体験してほしい。私たちNPOたけとよは、皆さんに楽しんで貰えるようにと思ってもう20年。これからも頑張って活動していきたい。

い S.I
いつも地域に夢と感動を届けてくださりありがとうございます。地域の人のみならず全国・世界の人とも交流が生まれるゆめたろうプラザ。いつまでも変わらぬ情熱で、文化・芸術の発展と、ここに集まる人たちの喜びと出会いが生まれますように。

じゅ T.Y
準備万端、ゆめたろう。
観客として、スタッフとして、あるいはただの通りすがりにでも。
ゆめプラは、いつでもあなたのお越しをお待ちしています。
色々なワクワクに出会える場所です。

つ Y.I
つながることで見えてくる景色があると実感しました。世代や背景の違いを越えて協力し合う時間は、地域の力そのものです。これからも、この輪が広がっていくことを願っています。

は M.T
How wonderful ゆめプラ！
知れば知るほど奥深く、仲間に入れば面白い、あたたかい大家族のような場所。これからも、心が豊かになる、幸せな未来をみんなで作っていこう！

ゆ Y.S
ゆめプラ20数年の歴史の中で、その活動に初めから参加出来たことで私の人生は楽しいものになりました。まだまだやります。これからも楽しい人生を続けさせてください。

め R.Y
めざそう、笑顔溢れる文化の街。ハロウィンイベントに参加した際にイベント運営側に興味を持ちNPOに参加しました。コンサートや WS など、大人も子供もニコニコと参加してくださる姿が私のモチベーションです！

の S.S
のんびりと過ごす人生か？楽しく忙しく過ごすか？どちらも幸せ♥NPOたけとよの活動は、人生を楽しく、明るく、元気にさせてもらえます。是非あなたもワクワク体験してみてください。笑顔が何よりの元気の源です。

た Y.F
たくさんの子どもたちの心に文化の小さな種をまいてきました。その種がどこかで芽を出し、子どもたちの豊かな人生につながっているのなら、これほどうれしいことはありません。

ね K.M
ネオジム原子番号６０　聞きなれない名前の元素ですが、このネオジムがないと電気自動車、ハイブリッド自動車などのモーターは作れません。サイエンスの世界は無限です。興味を持ってもらえるイベント続けたいです。

ろ K.K
ロケ地のように不思議で素敵な施設だと惹かれ、イベントに参加するうち、スタッフとして関わるようになった。活気あふれる NPOたけとよの皆さんに刺激を受けつつ、これからもゆめプラを訪れる人が笑顔になれるお手伝いを続けていきたい。

まん K.T
満足げな子どもの笑顔。素晴らしいピアノと大きなホールでの発表会。かけがえのない経験ができました。科学、音楽、芸術など老若男女が心豊かになれる文化の拠点ゆめたろうプラザを今後も守っていきたいです。

と S.K
とりあえずやってみよう！そんな一言から全てのイベントが始動してきました。老いも若きも一丸となって、ひとつひとつのイベントを考えてやってきました。今までもこれからも。

ま Y.O
祭りが僕の中で始まりました。モデルロケット製作教室です。なんと、大好きで特別な漫画の原作者の人に会えたのです。緊張しつつも、勇気を出してサインを貰いました。お互いニコニコでしたが、僕の心臓はバクバクでした。

ほ C.S

ほっとできて、居心地がいい空間。自分ができる範囲で活動してます。
それぞれがそれぞれの立場で安心して力を発揮でき、輝ける場所。関わる人みんなにとってのプラットホームとなっていきますように。

か R.S

感動と夢を常に与えてるゆめたろうプラザ！
音楽、アートなど武豊町の発展には欠かせない場所と存在感！
今後も感動と夢を発信し続けて行ける場所となるでしょうね♬

う M.K

うつりゆく季節や暮らしの中に、いつもゆめプラが彩りを添えてくれる。ゆめプラのない武豊はきっとさみしいモノクロ色。僕やたくさんの誰かの人生が彩り豊かに続いていくために、僕たちにはきっとゆめプラが必要だ。

な R.M

なんか武豊町のゆめたろうプラザって、行くだけで気分が明るくなる。
イベントがなくても、あのゆったりした雰囲気が心地いい。
今日も一日、のんびり楽しもう。

の M.H

望み高く、誇り高く、ゆめたろうプラザを軸とし芸術文化溢れるまち創りに携われることに感謝いたします。自身も、知識とセンスをアップデートしつつ、信頼と情熱をもち成長し続けます。
音楽でインクルーシブ社会を♪

ぶん H.I

文化の殿堂、ゆめだろうプラザ。魅力的な企画がいっぱいあって、ついつい足が向いてしまいます。すると、またステキな新しい出会いがある。いつまでも、心の玉手箱であってほしい。

はー T.U

はー、ハッハッハ　と笑い、楽しく和気あいあい。
20年続くNPOたけとよ。
これからもどうぞよろしくお願いいたします。

か K.Y

感動・感嘆・感激・感謝の連続です。
NPOたけとよに出会えて、ステキな世界が広がりました。次は何が起こるのか？ドキドキ・ワクワクが止まらない。それを皆さんと楽しみ共有できる!!
最高ですね。

も M.T

「もしかしたら＝if」、「なぜ＝why」などの疑問や、「きれい＝beauty」、「おもしろい＝interesting」など感動は、私たちの心と身体を動かす原動力の一つです。そんな発信基地で、ゆめプラがあり続けたい。

の K.F

のびのび育つ子どもたち。
子どもたちのやりたいことや作りたいものに寄り添う大人たち。
ゆめプラでの子どもたちの驚きと体験、成長をこれからも。

にー N.H

にーっこりと笑い合えるような町を目指して、NPOたけとよではいろんな企画をしています。芸術と科学のハーモニーをテーマに20周年を迎えました。これからもみんなが行きたくなるような楽しい企画を作っていきたいですね。

ぷ Y.Y

プレゼント
演者から伝わる“楽しさ”“生きざま”を全身に受けて!!
自分に新たな活力を“贈られる”そんな場所ゆめプラが大好きです。

ゆ Yumetchy

ゆめっちぃとプザらシはゆめたろうプラザが大好き！ここに集まってくれる子どもたちの笑顔で元気百倍だよ！
いっぱい遊びに来てね！



れ Y.O

連携して地域を活性化し、まちづくりには、多種多様な意味がありました。はじめは全く理解ができず、参加していくうちに深まりました。色んな事に興味を持つようになり、楽しく取り組んでます。

た N.M

武豊は第二の故郷。武豊は４回目の転勤地。無口な性格を変えたのは、ボランティア。①視覚障害者支援。②武豊町内防災活動。③NPOたけとよへの参加。併せて、話し方・文章教室。30回の国内外旅行で見聞を広めました私です。

ぜん Y.O

前途洋々のNPOたけとよ会員。アダルトからシニア層までと幅広い年齢構成。私達は芸術や文化活動に、各々が得意分野を生かしスキルアップしながら、ボランティア活動を行っています。
そんな人生に皆に幸あれ！

と T.T

ともに歩んだ日々は、私にとってかけがえのない宝物です。最高の仲間ができたこの団体に心からありがとう！次の楽しい未来も、みんなで一緒に創ろうね。

こ Y.T

ここに来れば何かが見つかる、誰かに会える、ゆめプラはそんな場所。心を動かす何かがある場所。音楽を聴く、芝居を観る、アートを鑑賞、表現する、実験する、ワクワク体験、いろんなことができる場所。遊びにおいでよ！

ど T.Y

どきどき、わくわく「芸術と文化の町武豊」を、目指して20年!!文化創造に参加して、すばらしい体験をさせていただき、学ぶことの楽しさも知りました。おかげさまで潤いのある日々を過ごしてまいりました。NPOたけとよに乾杯！

も T.O

もっとも面白いことをやっていて、もっと知られていい凄い団体なんです。県内外、企画から宣伝マネジメントまで NPO を立ち上げて、本当に稀な存在。それが NPOたけとよ（ゆめたろう）なんです。

が S.S

頑張ってきた歴史と実績。楽しくて夢いっぱいの企画でたくさんの人に愛されるゆめたろうプラザ。これからも大人や子どものこころをつかむ芸術の種を撒き続けよう！

え Y.T

エンジンの源は、仲間や地域の人、アーティストの皆さんの笑顔。原爆写真展のアンケートに「生きたくても生きられなかった人たちのためにもう少し生きようと思う。オレは頑張る」と書いてくれた10代のお客様。企画して良かったと思う瞬間。

が Y.S

がんばった人も、がんばっていない人もひとたび客席に入れば、舞台の演者スタッフと一緒にがんばれる。がんばらない私もがんばった気になれるのが、NPO たけとよの魅力だと思ってます。

お S.A

『面白いこと、しない？』そう声を掛けられ、入会した NPO たけとよ。来場者に楽しんでもらうのはもちろん、自分たちが楽しむことで生き生きとした活動になっていると思います。今は私も、面白いことに貪欲に活動しています。

の H.K

のーげきじょう、のーらいふ
子どものときから劇場でたくさんの作品を観てきて、そして今や演劇を生業としているわたしにとって、じぶんの地元にあるこの劇場と、その劇場の活動を支えているNPO たけとよは、なにより自慢です。

み M.T

味噌・たまり＆ゆめプラ♡
武豊と言えば！ですよね！？
これからも、たくさんの想いとパワーが集まって、笑顔あふれる『ゆめプラ』に、そして武豊町になりますように(*^▽^*)

ら K.K

ライフワークよ！ゆめたろうプラザと一緒に成長しました。想いが実現できる場所。たくさんの方と出会い、たくさんの経験ができ、たくさん楽しみました。人と人を繋げる場所、ゆめプラ！ありがとう (^^)

い S.D

いろんな企画に参加して 10年あっと言う間でした。アフレコ、話し方講座、上達していくのを嬉しく思い、ゆめホタルの光を見て心温まる思いをしました。活動に参加出来て良かったです。これからも楽しみです。

を C.Y

をかしなゆめたろうプラザには、元気で愉快な人々が集っています。そんな仲間が考える企画は“楽しい”がたくさん詰まっています。イベントに来てくれる人が喜んでくれること、それが皆んなのご褒美なのです。

め S.A

めぐり合って20年。芸術にはほど遠い生活の中から私を連れ出してくれた「友」。大切にしたいですね。この出会いがあったからこそ多くの人と心を通わせ、学び合う日々がありました。若い人達もどんどん芸術に触れ、人生を豊かにしてくれたらうれしいです。

ざ K.M

ざ！幽霊会員!!
ずうっと後方支援続けさせていただいております。
これからも会費だけ払う後方支援で、よろしくお願いします♡

す K.O

すてきな仲間とNPO たけとよで出会うことができました。
これからも地元の子供たち・保護者の方と触れあえるイベントを通じて武豊町発展のお手伝いができたらいいなあ。

組織図

NPOたけとよ 組織図

2025年12月31日現在

NPO たけとよ 役員

理事会
- 理事長　1名
- 理　事　8名
- 監　事　2名

理事会に出席

事務局
- 事務局長　1名
- 事務職員　3名
- パート職員　4名

- 情報企画鑑賞系
- 情報企画ハーモニー系
- 広報拡販GRP
- 総務GRP
- IT化推進GRP
- これプラ推進GRP
- 記録誌編集委員会
- フェスティバル事業検討GRP
- ゆめプラユース・クルーGRP

正会員 46名

青木　早苗	青木さゆり	石川　祥平	石川　義治	犬塚　久夫	宇津野　直	大岩　優太
大岩　幸英	太田　英政	尾崎　良子	小澤　一敏	河合　聖己	黒野　雅直	鯉江　咲耶
越賀波奈子	小寺　岸子	榊原　里江	坂本ちひろ	櫻場　敬信	佐藤　昭子	澤田　佳子
関口　美恵	左右木星志	髙木　正博	髙木　幸江	高橋　洋子	田嶌　美保	谷川健一郎
土田美奈子	出口　貞子	戸田　朋子	濵本　美保	平山　直樹	藤本　径也	藤本　優二
前田　信雄	前浪　竜輝	水野　皓介	南　賢治	村田　健司	柳　洋子	山口　景子
山中　里穂	山本多恵子	百合草とし	横田　千晴			

賛助会員　1団体＋1名

武豊町民会館（ゆめたろうプラザ）運営組織図

2025年12月31日現在

ゆめプラメイト（鑑賞会員）

ゆめプラスタッフ（ボランティアスタッフ）
- ○フロントスタッフ
- ○情報スタッフ
- ○ダ・ヴィンチスタッフ

町民会館

- 教育委員会
- 教育長
- 教育部長

館　長

事務長　1名
職　員　3名
パート　2名

施設管理 → 施設管理業務
- ・舞台管理（3名）
- ・清掃（3名）
- ・保守点検など

事業運営

企画委員会（事業企画調整会議）

運営委員会（運営・事業総括諮問機関）

創造アドバイザー（事業企画に係る専門家の助言）

NPOたけとよ

社員（会員）
- ・46名

有給職員
- ・事務職　4名
- ・パート　4名

NPO たけとよ委託内容
- ・貸館事務、チケット販売事務
- ・ゆめプラメイト事務、ゆめプラスタッフ事務
- ・自主文化創造事業の一部
  （鑑賞事業・芸術と科学のハーモニー事業）

編集後記

2019 年末、まさか自分たちが生きている時代に、未曾有の感染症パンデミックが起こるとは想像もしていませんでした。私たちは旅行はもちろん、外食やライブハウス、劇場にも出かけられなくなり、外出自粛の日が続きました。

舞台芸術は不要不急だと言われ、劇場や音楽堂は閉鎖、アーティストたちは電話やメールでいとも簡単に仕事を断られ続けました。さらに音響、照明、大道具など舞台を支える仕事をしている人たちも、軒並み生きる糧を失いました。いつ終わるともしれない感染症の流行により、自分たちが生涯をかけてやってきたことが否定され、食べていくためにやむを得ず仕事を変えざるを得なかった人たちもたくさんいました。

そんな鬱々としたステイホームが続く中、心を奮い立たせるような配信映像がありました。劇団四季の俳優たちが個々の家庭からオンライン会議システムを使って集まり配信した『レ・ミゼラブル』の「民衆の歌」です。その圧巻の歌声は「そうだ！俳優も演奏者も、舞台のスタッフも、みんながいなかったら、こうやって音楽を聴くことも映画を観ることもできなくなってしまうんだ。芸術は、不急かもしれないけれど、全ての人にとって必要不可欠なものなんだ」と確信を持つに余りあるものでした。

ゆめたろうプラザでのコンサートの再開は 2020 年 9 月のジャズライブでした。客席は一席おきの一松模様状態でしたが、半年ぶりの舞台に、演奏者もお客様も、胸が熱くなるほど待ち焦がれていたんだということが、トークやアンケートからひしひしと伝わってきました。

また、毎年小学 4 年生を対象におこなってきた学校アウトリーチですが、2020 年度は中止となりました。「この学年の子たちは、受けられないのね…」という悲しそうな音楽の先生の言葉に、2021 年度に 2 学年 22 学級やろう！と決め、アーティストには 3 週間滞在していただき、最後のホールコンサートも含めると全 23 公演、全力で演奏し続けていただきました。校長先生から「生の音楽は心を震わせる力を持っている。だから子どもたちに聴かせたいんだ」という言葉をいただき、アーティストは、「自分の存在意義が揺らいでいた時期だけに涙が出るほど嬉しかった」と語ってくれました。

記録誌「文化でつなぐまちづくり」Part.1 では、主にゆめたろうプラザにおける住民と行政の協働の運営の立ち上げの記録を書きました。そして立ち上げから 21 年経った Part.2 では、地域に根を張り、たくさんの人に愛されているゆめたろうプラザの姿を、誌面のあちこちに見ることができます。

皆様から頂戴したメッセージや会員コメントを読むと、ゆめプラには、あふれるほどの“愛と想い”がいっぱい込められているんだなと、改めて感じます。

制作にあたり、本当にたくさんの方にご協力いただき、感謝でいっぱいです。

これからも、ゆめプラがますます地域の宝となり、私たちの暮らしを豊かにするプラットホームとなるために、次の世代と共に、「協働のまちづくり」の歩みを進めてまいりたいと思います。

皆様、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

記録誌編集委員会　委員長　高橋洋子



ＮＰＯたけとよのゆかいな仲間たち　2025.10.26

文化でつなぐまちづくり
ー NPO たけとよとゆめたろうプラザの協働の軌跡ー
Part2

編集委員会

委 員 長　高橋　洋子
副委員長　髙木　正博
編集委員　青木　早苗
　　犬塚　久夫
　　宇津野　直
　　櫻場　敬信
　　関口　美恵
　　左右木星志
　　髙木　幸江
　　田嶌　美保
　　土田美奈子
　　戸田　朋子
　　山本多恵子
　　百合草とし

特定非営利活動法人武豊文化創造協会
（NPOたけとよ）
〒470-2555　愛知県知多郡武豊町大門田11番地
TEL:0569-74-1211／FAX:0569-74-1227
e-mail:npo@yumetaro.net

2026年1月発行
製作　tutti design



NPO
since2003
たけとよ
特定非営利活動法人武豊文化創造協会